

# 米に関するマンスリーレポート (令和3年2月号)



「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo\\_kaiset.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaiset.html)

# 目次 (令和3年2月号)

## I 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の収穫が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間の玄米の仕入量が5,000トン以上の全国出荷団体等からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、契約数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを収穫前に契約し、あらかじめ販路を確保しているものといえ、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

### 1 事前契約の取組状況

農林水産省(政策統括官)HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 近年の事前契約数量の推移(平成26年産～令和3年産)

契約3

(2) 令和2年産米の産地別事前契約の取組状況(令和2年12月末現在)(速報)

契約4

Excel

### 2 令和2年産米の産地別契約・販売状況

契約5

Excel

(累計、うるち米、令和2年12月末現在)(速報)

### 3 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果(令和3年産)

契約1

## II 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階(全農、JA等の出荷業者)の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階(米卸等の販売業者の在庫量)を対象に調査し、その合計(出荷段階+販売段階)の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

### 1 民間在庫の推移

農林水産省(政策統括官)HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 全国段階の民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫1

Excel

(2) 産地別民間在庫の状況(前年同月差)

在庫4

Excel

(3) 令和元・2年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫5

Excel

## III 米の価格情報

### 相対(あいたい)取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等間で、年間を通じて長期的な取引を行う「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等と年間玄米直接販売数量5,000トン以上の卸売業者を対象に、指標となる各産地の作付上位2～3銘柄を調査対象産地品種銘柄(令和2年産米:118産地品種銘柄)として、相対取引価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

### 1 相対取引価格・数量

農林水産省(政策統括官)HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1) 年産別の相対取引価格

価格1

(2) 相対取引価格・数量(令和2年産米、産地品種銘柄別、令和2年12月分)(速報)

価格2

Excel

相対取引価格・数量(令和2年産米、産地品種銘柄別、令和3年1月分)(速報)

価格4

Excel

(3) 相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和元・2年産米、産地品種銘柄別)(速報)

価格6

Excel

### 2 スポット価格の状況(日本コメ市場株式会社)

価格8

### 3 米の先物取引価格の推移

価格9

農林水産省(食料産業局)HP <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/svoutori/index.html>

### 4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和2年12月分)

価格10

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

## IV 消費の動向

- |  |      |
|--|------|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査)  | 消費1  |
| 米穀安定供給確保支援機構HP <a href="https://www.komenet.jp/">https://www.komenet.jp/</a>                         |      |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)   | 消費4  |
| 3 消費者物価指数の推移   | 消費6  |
| 4 小売物価統計の推移  | 消費7  |
| 総務省統計局HP <a href="https://www.stat.go.jp/data/index.html">https://www.stat.go.jp/data/index.html</a> |      |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向   | 消費8  |
| 6 中食・外食事業者の米の仕入状況  | 消費9  |
| 7 小売価格の推移(POSデータ)  | 消費10 |

## V 輸出入の動向

- |  |     |
|--|-----|
| 1 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)   | 輸入1 |
| 2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(令和2年度)  | 輸入2 |
| 3 SBS輸入米の見積合わせ結果(令和2年度)  | 輸入3 |
| 4 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果(令和2年度)   | 輸入4 |
| 農林水産省(政策統括官)HP <a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html">https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html</a> |     |
| 5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について   | 輸出1 |
| (1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移  | 輸出2 |
| (2) 2020年の主な増加要因   | 輸出3 |
| (3) 米菓の輸出数量及び金額の推移   | 輸出4 |
| (4) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移  | 輸出5 |
| (5) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移   | 輸出6 |
| 6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について   | 輸出7 |

## VI 主食用米以外の情報

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況              |     |
| (1) 加工用米の生産量                     | 加工1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移         | 加工1 |
| (3) 令和2年産 都道府県別の生産状況             | 加工2 |
| 2 米加工品の状況                        |     |
| (1) 主な米加工品の生産状況                  | 加工3 |
| (2) 令和元米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 加工4 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移         | 加工5 |
| 3 酒造好適米の需給状況                     |     |
| (1) 日本酒の出荷状況                     | 酒造1 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況                  | 酒造1 |
| (3) 酒造好適米の生産量                    | 酒造2 |
| (4) 酒造好適米の需要量                    | 酒造2 |

## VII 作柄概況

令和2年産水陸稲の収穫量

作柄1

「米に関するマンスリーレポート」とは、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。

また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載することにしました。さらに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご利用願います。

# I 米の契約・販売情報

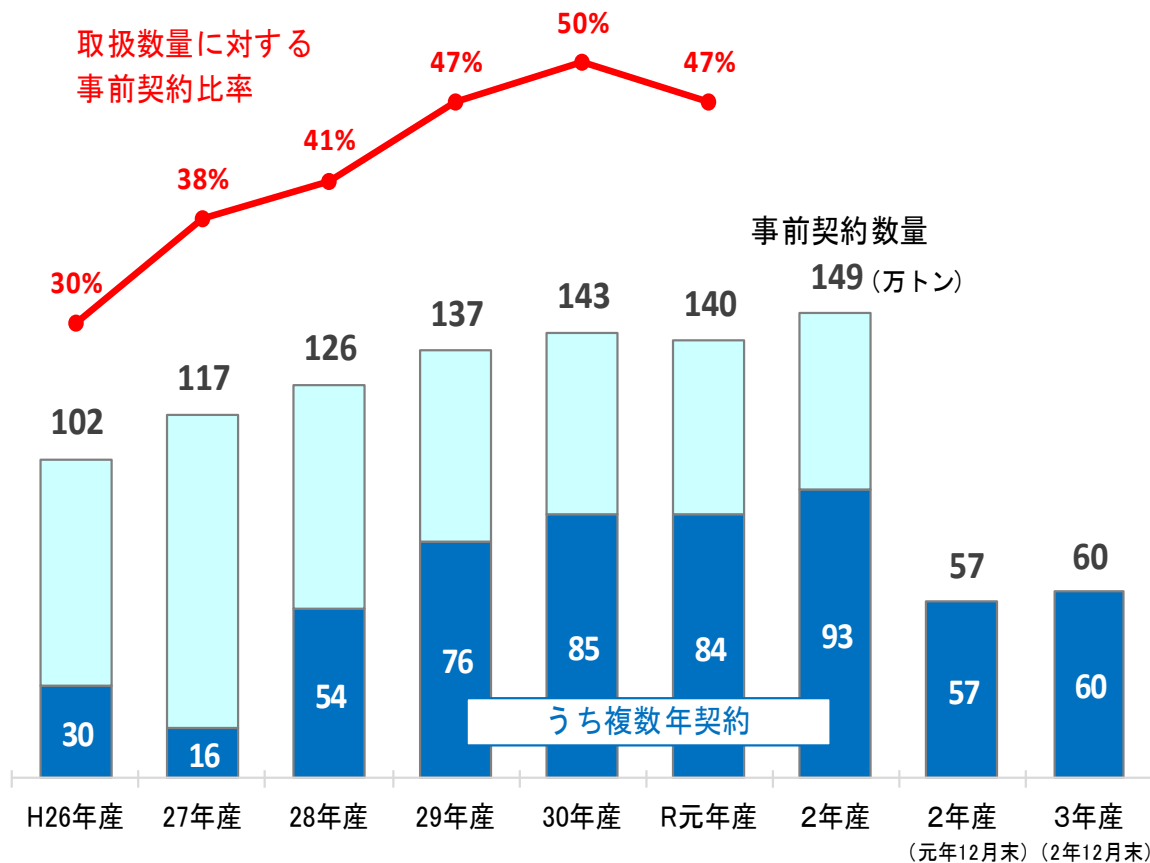
## 1 事前契約の取組状況

契約・販売状況の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」で御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

### (1) 近年の事前契約数量の推移（平成26年産～令和3年産）

- 事前契約数量は、農水省が一定規模以上の集出荷業者を対象に、「収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量」について調査。
- 近年、主食用米の事前契約（複数年契約）の取組は、年々増加。

### 【近年の事前契約数量の推移】



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

注2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

注3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

注4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

注5：元年産以前は確定値、2・3年産は2年12月末時点の速報値。

注6：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## (2) 令和2年産米の産地別事前契約の取組状況（令和2年12月末現在）（速報）

- 令和2年産の12月末現在の事前契約数量は前年+8.5万トンの148.8万トンとなっている。

	元年産（2年12月末現在）		2年産（2年12月末現在）			3年産（2年12月末現在）		2年産（元年12月末現在）	
	事前契約数量 ①	うち複数年契約	事前契約数量 ②	うち複数年契約	前年差 ②-①	事前契約数量	うち複数年契約	事前契約数量	うち複数年契約
北海道	208.5	183.0	203.6	183.5	▲ 4.9	161.4	161.4	154.6	154.6
青森	56.7	19.5	66.8	28.8	+ 10.1	-	-	-	-
岩手	88.8	88.8	88.0	85.3	▲ 0.8	1.1	1.1	65.3	65.3
宮城	118.9	105.5	129.1	117.3	+ 10.2	125.6	125.6	81.5	81.5
秋田	189.5	100.8	207.1	137.9	+ 17.6	118.2	118.2	86.1	86.1
山形	81.7	31.6	80.6	49.7	▲ 1.1	-	-	13.9	13.9
福島	46.7	45.6	49.7	44.1	+ 3.0	21.6	21.6	17.0	17.0
茨城	16.3	1.0	29.6	-	+ 13.3	-	-	-	-
栃木	74.0	69.2	70.3	69.1	▲ 3.7	63.1	63.1	1.6	1.6
群馬	0.2	-	4.0	1.1	+ 3.8	-	-	-	-
埼玉	7.7	0.9	6.8	0.9	▲ 0.9	0.3	0.3	0.9	0.9
千葉	12.0	12.0	6.5	6.5	▲ 5.5	3.9	3.9	-	-
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	35.1	32.5	38.4	36.4	+ 3.3	23.7	23.7	25.6	25.6
静岡	1.7	-	1.6	-	▲ 0.1	-	-	-	-
新潟	167.2	104.7	184.1	120.0	+ 16.9	80.8	80.8	102.6	102.6
富山	39.7	8.2	42.7	7.5	+ 3.0	-	-	-	-
石川	20.6	1.5	20.4	1.5	▲ 0.2	-	-	-	-
福井	9.1	9.1	8.1	8.1	▲ 1.0	-	-	-	-
岐阜	14.1	2.6	8.5	2.4	▲ 5.6	2.4	2.4	-	-
愛知	13.0	1.7	14.2	1.7	+ 1.2	1.7	1.7	1.7	1.7
三重	19.7	-	22.4	-	+ 2.7	-	-	-	-
滋賀	34.2	16.0	35.4	14.3	+ 1.2	-	-	9.9	9.9
京都	6.8	-	7.6	2.0	+ 0.8	-	-	-	-
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	13.0	-	13.0	-	± 0.0	-	-	-	-
奈良	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	4.1	-	5.5	-	+ 1.4	-	-	-	-
島根	34.0	3.1	30.6	0.2	▲ 3.4	-	-	-	-
岡山	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	14.0	-	26.6	-	+ 12.6	-	-	-	-
山口	22.4	0.6	18.6	0.6	▲ 3.8	-	-	0.6	0.6
徳島	2.2	-	2.2	-	± 0.0	-	-	-	-
香川	15.8	5.7	15.6	7.0	▲ 0.2	-	-	6.0	6.0
愛媛	3.6	-	4.3	-	+ 0.7	-	-	-	-
高知	2.1	-	1.8	-	▲ 0.3	-	-	-	-
福岡	26.1	0.8	33.3	0.2	+ 7.2	0.2	0.2	-	-
佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	-	-	7.2	-	+ 7.2	-	-	-	-
熊本	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分	3.3	-	3.9	-	+ 0.6	-	-	-	-
宮崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 国	1,403	844	1,488	926	85	604	604	567	567

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」「米の農産物検査結果」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

注2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

注3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

6：農産物検査数量は、水稻うち玄米の検査数量である。

## 2 令和2年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和2年12月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

単位: (千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量		参考:前年同月比 (元年産の同時期との比較)		
					③	③/①	集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	106	335.3	239.1	-	78.0	23%	111%	94%	86%
ななつぼし		165.9	115.9	-	34.2	21%	115%	93%	86%
ゆめぴりか		78.2	60.0	-	22.1	28%	103%	95%	94%
きらら397		43.6	26.4	-	3.4	8%	120%	100%	62%
青森	105	115.1	84.4	-	15.1	13%	78%	93%	70%
まっしぐら		82.9	61.2	-	7.4	9%	79%	104%	55%
つがるロマン		22.1	15.7	-	3.9	18%	66%	66%	87%
岩手	103	137.4	95.4	-	13.6	10%	103%	101%	81%
ひとめぼれ		106.2	69.9	-	9.8	9%	104%	100%	83%
あきたこまち		13.9	13.0	-	0.9	6%	98%	102%	52%
銀河のしずく		7.4	5.5	-	1.4	19%	106%	99%	88%
宮城	102	151.5	146.5	-	20.6	14%	108%	103%	85%
ひとめぼれ		112.1	116.6	-	13.3	12%	106%	101%	82%
つや姫		13.6	10.8	-	3.1	23%	119%	106%	131%
ササニシキ		9.0	8.0	-	1.8	20%	116%	118%	102%
秋田	105	268.0	221.0	-	46.3	17%	101%	100%	89%
あきたこまち		216.5	186.1	-	40.6	19%	101%	100%	88%
めんこいな		13.5	8.9	-	1.5	11%	102%	92%	85%
ひとめぼれ		22.3	17.3	-	1.9	9%	106%	113%	88%
山形	104	197.8	125.6	-	32.4	16%	111%	114%	95%
はえぬき		111.4	63.6	-	12.0	11%	111%	113%	84%
つや姫		39.3	31.8	-	11.6	30%	108%	123%	112%
ひとめぼれ		14.4	10.6	-	3.1	22%	101%	106%	81%
福島	102	148.2	72.9	-	18.1	12%	96%	98%	95%
コシヒカリ中通り		42.1	14.9	-	4.9	12%	97%	97%	109%
コシヒカリ会津		33.6	27.7	-	2.1	6%	83%	96%	57%
コシヒカリ浜通り		5.9	4.4	-	0.6	10%	89%	79%	89%
ひとめぼれ		29.9	11.2	-	3.3	11%	106%	107%	133%
天のつぶ		23.6	8.0	-	2.8	12%	106%	87%	106%
茨城	103	76.5	55.9	-	19.4	25%	125%	142%	106%
コシヒカリ		55.1	41.7	-	10.7	19%	123%	148%	111%
あきたこまち		11.7	10.4	-	7.3	62%	128%	135%	99%
あさひの夢		1.0	0.4	-	0.2	20%	85%	404%	259%
栃木	101	131.8	77.9	-	9.5	7%	105%	95%	50%
コシヒカリ		94.9	62.7	-	5.8	6%	102%	93%	41%
あさひの夢		11.4	4.3	-	1.2	11%	129%	109%	143%
とちぎの星		16.4	6.9	-	0.8	5%	124%	126%	39%
群馬	100	18.3	15.4	-	11.3	62%	113%	777%	1134%
あさひの夢		13.0	12.5	-	8.5	-	118%	1350%	2030%
ゆめまつり		3.4	2.3	-	2.3	68%	107%	298%	580%
埼玉	102	21.4	8.5	-	2.4	11%	128%	78%	70%
彩のかがやき		8.3	3.3	-	1.0	12%	111%	62%	75%
コシヒカリ		6.1	2.6	-	0.6	10%	158%	101%	58%
彩のきずな		4.7	2.1	-	0.6	13%	126%	90%	79%
千葉	99	65.8	33.0	-	25.7	39%	111%	61%	73%
コシヒカリ		30.3	15.5	-	10.7	35%	113%	60%	80%
ふさこがね		16.6	7.1	-	6.1	37%	117%	53%	66%
ふさおとめ		14.3	7.0	-	6.3	44%	100%	59%	61%
東京	98	0.0	0.0	-	0.0	-	200%	200%	200%
神奈川	97	1.9	0.3	-	0.3	16%	107%	49%	49%
山梨	97	5.3	0.9	-	0.9	17%	90%	90%	90%
コシヒカリ		4.5	0.8	-	0.8	18%	89%	93%	93%
長野	99	64.8	41.6	-	9.7	15%	94%	101%	84%
コシヒカリ		52.1	34.2	-	7.2	14%	96%	104%	81%
あきたこまち		6.2	4.2	-	1.1	18%	82%	105%	116%
静岡	92	7.8	1.8	-	1.7	22%	90%	65%	83%
コシヒカリ		5.2	1.3	-	1.3	25%	91%	70%	94%
きぬむすめ		1.2	0.2	-	0.2	17%	97%	60%	60%
あいちのかおり		0.6	0.1	-	0.1	17%	77%	68%	49%

注:本表の注意点は次々頁の脚注を参照

## 集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

単位: (千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量		参考: 前年同月比 (元年産の同時期との比較)		
					③	販売 比率 ③/①	集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	103	287.2	221.3	-	67.4	23%	102%	93%	92%
コシヒカリ一般		135.2	107.0	-	27.9	21%	102%	90%	80%
コシヒカリ魚沼		33.8	18.2	-	10.8	32%	103%	96%	108%
コシヒカリ佐渡		14.2	13.0	-	4.0	28%	99%	112%	96%
コシヒカリ岩船		11.8	10.8	-	3.0	25%	94%	114%	100%
こしいぶき		48.4	39.5	-	11.6	24%	103%	93%	108%
富山	103	95.0	62.1	-	20.1	21%	108%	122%	85%
コシヒカリ		66.7	46.4	-	14.5	22%	106%	120%	79%
てんたかく		8.5	5.7	-	2.3	27%	92%	98%	85%
石川	101	31.9	21.5	-	4.0	13%	130%	93%	70%
コシヒカリ		18.0	11.3	-	1.6	9%	136%	84%	58%
ゆめみづほ		4.9	3.8	-	0.5	10%	112%	98%	45%
福井	99	49.7	30.5	-	5.4	11%	78%	74%	23%
コシヒカリ		20.7	14.5	-	2.5	12%	81%	114%	31%
ハナエチゼン		11.9	9.0	-	1.4	12%	63%	62%	13%
あきさかり		5.5	1.9	-	0.5	9%	81%	67%	39%
岐阜	96	15.8	13.7	-	4.0	25%	80%	77%	79%
ハツシモ		6.2	7.3	-	1.1	18%	65%	90%	77%
コシヒカリ		5.5	3.4	-	1.2	22%	96%	83%	83%
あきたこまち		0.5	0.1	-	0.0	-	95%	39%	27%
愛知	96	32.8	28.1	-	7.4	23%	114%	104%	86%
あいちのかおり		17.8	16.4	-	2.7	15%	115%	103%	80%
コシヒカリ		10.3	8.3	-	3.0	29%	113%	103%	86%
大地の風		1.1	1.2	-	0.2	18%	95%	83%	64%
三重	96	24.8	23.6	-	6.7	27%	101%	107%	104%
コシヒカリ一般		12.9	14.1	-	3.3	26%	101%	108%	110%
コシヒカリ伊賀		6.0	4.8	-	1.8	30%	96%	110%	103%
キヌヒカリ		2.0	1.2	-	0.4	20%	111%	108%	260%
滋賀	98	45.2	42.5	-	13.8	31%	104%	108%	95%
コシヒカリ		14.6	16.6	-	5.2	36%	94%	103%	91%
キヌヒカリ		7.7	7.0	-	1.9	25%	106%	105%	83%
みずかがみ		9.4	8.0	-	3.5	37%	105%	110%	112%
京都	98	7.5	8.2	-	1.7	23%	95%	107%	74%
コシヒカリ		4.9	4.9	-	1.2	24%	103%	105%	82%
キヌヒカリ		1.4	1.7	-	0.2	14%	88%	95%	54%
ヒノヒカリ		0.4	1.1	-	0.1	-	48%	327%	37%
大阪	94	-	-	-	-	-	...	...	...
兵庫	95	38.0	28.9	-	10.3	27%	94%	81%	85%
コシヒカリ		11.8	7.4	-	3.2	27%	111%	67%	91%
ヒノヒカリ		3.3	2.2	-	0.5	15%	95%	81%	95%
キヌヒカリ		3.7	1.7	-	0.7	19%	131%	72%	92%
奈良	94	7.1	1.2	-	1.2	17%	84%	91%	91%
ヒノヒカリ		5.6	0.9	-	0.9	16%	83%	90%	90%
和歌山	92	0.5	0.5	-	0.3	60%	57%	57%	102%
鳥取	100	21.4	16.2	-	3.6	17%	95%	99%	55%
コシヒカリ		7.0	5.3	-	0.8	11%	87%	88%	41%
きぬむすめ		6.3	4.7	-	1.3	21%	89%	86%	65%
ひとめぼれ		4.0	3.6	-	0.9	23%	75%	85%	39%
島根	99	31.2	31.0	-	7.1	23%	95%	91%	80%
きぬむすめ		12.4	12.1	-	3.0	24%	95%	83%	72%
コシヒカリ		12.3	13.0	-	2.1	17%	92%	98%	86%
つや姫		4.2	3.9	-	1.2	29%	101%	92%	96%
岡山	95	28.5	29.3	-	7.3	26%	245%	239%	175%
アケボノ		0.9	1.3	-	0.3	33%	59%	65%	59%
あきたこまち		6.1	5.0	-	1.0	16%	...	...	...
ヒノヒカリ		5.6	5.4	-	1.2	21%	600%	570%	229%
広島	94	28.4	30.9	-	7.1	25%	100%	91%	95%
コシヒカリ		12.1	14.6	-	3.6	30%	104%	92%	106%
あきさかり		6.7	6.4	-	1.0	15%	109%	91%	100%
あきろまん		2.2	2.9	-	0.5	23%	91%	84%	115%

注: 本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

単位: (千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量		参考: 前年同月比 (元年産の同時期との比較)		
					③	③/①	集荷数量	契約数量	販売数量
山口	73	21.1	20.1	-	5.1	24%	68%	82%	74%
コシヒカリ		7.9	6.5	-	2.4	30%	91%	83%	98%
ひとめぼれ		5.7	4.4	-	1.2	21%	73%	76%	58%
ヒノヒカリ		2.9	3.7	-	0.5	17%	45%	78%	54%
徳島	100	6.2	3.7	-	2.0	32%	111%	114%	110%
コシヒカリ		1.8	2.1	-	0.9	50%	70%	98%	88%
キヌヒカリ		3.4	1.1	-	0.7	21%	...	...	...
香川	100	19.3	15.6	-	3.1	16%	103%	98%	75%
コシヒカリ		6.3	5.8	-	1.6	25%	99%	100%	79%
ヒノヒカリ		5.6	5.2	-	0.7	13%	99%	106%	80%
おいでまい		3.4	2.7	-	0.6	18%	89%	81%	87%
愛媛	91	8.1	5.3	-	3.0	37%	104%	89%	86%
コシヒカリ		3.6	2.3	-	1.5	42%	111%	73%	94%
ヒノヒカリ		1.1	0.9	-	0.3	27%	81%	144%	79%
あきたこまち		1.0	0.5	-	0.4	40%	128%	63%	80%
高知	93	8.9	6.0	-	6.0	67%	96%	92%	92%
コシヒカリ		5.8	4.6	-	4.6	79%	92%	95%	95%
ヒノヒカリ		1.3	0.4	-	0.4	31%	126%	86%	86%
福岡	80	33.4	38.4	-	10.1	30%	92%	97%	91%
夢つくし		11.8	13.1	-	4.7	40%	94%	100%	98%
ヒノヒカリ		8.1	10.7	-	1.8	22%	84%	100%	87%
元氣つくし		10.6	13.0	-	3.0	28%	99%	91%	78%
佐賀	82	24.9	9.0	-	6.6	27%	99%	120%	108%
夢しずく		8.7	3.4	-	2.5	29%	90%	113%	93%
さがびより		7.5	1.7	-	1.2	16%	129%	266%	286%
ヒノヒカリ		5.5	1.7	-	1.0	18%	92%	162%	101%
長崎	86	7.1	7.4	-	1.7	24%	88%	86%	80%
ヒノヒカリ		1.3	2.0	-	0.2	15%	61%	88%	47%
にこまる		2.8	3.4	-	0.5	18%	96%	94%	87%
コシヒカリ		1.0	0.8	-	0.5	50%	88%	68%	99%
熊本	89	24.2	5.8	-	5.8	24%	91%	74%	74%
ヒノヒカリ		10.2	1.6	-	1.6	16%	94%	94%	94%
森のくまさん		3.1	0.6	-	0.6	19%	79%	68%	68%
コシヒカリ		5.5	2.4	-	2.4	44%	94%	65%	65%
大分	77	7.6	7.1	-	1.7	22%	87%	97%	92%
ヒノヒカリ		4.1	4.1	-	0.7	17%	75%	91%	81%
ひとめぼれ		0.6	0.5	-	0.1	17%	91%	104%	62%
つや姫		1.8	1.6	-	0.5	28%	114%	100%	99%
宮崎	95	10.4	7.8	-	7.8	75%	88%	67%	96%
コシヒカリ		6.1	6.1	-	6.1	100%	93%	93%	93%
ヒノヒカリ		3.7	1.2	-	1.2	32%	82%	27%	107%
鹿児島	94	7.4	7.4	-	6.7	91%	93%	93%	93%
ヒノヒカリ		2.0	2.0	-	1.5	75%	101%	101%	102%
あきほなみ		0.5	0.5	-	0.4	80%	104%	104%	125%
コシヒカリ		3.2	3.2	-	3.2	100%	91%	91%	91%
沖縄	101	1.3	1.3	-	1.2	92%	94%	94%	101%
全国①	99	2,710	1,979	-	567	21%	102%	99%	87%
参考	前年同月(30年産)②	2,645	1,999	-	650	25%			
	前年同月差(①-②)	65	▲ 20	-	▲ 83	▲ 4%			

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちのみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考: 前年同月比」で、令和元年産又は令和2年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。



### 3 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果（令和3年産）

令和3年産

（単位：トン）

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果		落札合計数量
		第1回 令和3年1月26日実施		
北海道	2,162	2,162		2,162
青森	27,259	27,259		27,259
岩手	3,488	3,488		3,488
宮城	11,600	11,600		11,600
秋田	21,572	21,572		21,572
山形	21,291	21,291		21,291
福島	27,050	27,050		27,050
茨城	1,103	1,103		1,103
栃木	7,602	7,602		7,602
群馬	555	555		555
埼玉	463	463		463
千葉	3,985	3,985		3,985
東京				
神奈川				
新潟	25,149	25,149		25,149
富山	12,197	12,197		12,197
石川	7,849	7,849		7,849
福井	4,076	4,076		4,076
山梨				
長野	1,446	1,446		1,446
岐阜	435	100		100
静岡	20	0		0
愛知	846	846		846
三重	270	270		270
滋賀	1,342	1,283		1,283
京都				
大阪				
兵庫				
奈良				
和歌山				
鳥取	400	100		100
島根	130	130		130
岡山	977	552		552
広島	20	0		0
山口				
徳島	1,182	1,182		1,182
香川				
愛媛				
高知	10	0		0
福岡	264	0		0
佐賀	220	0		0
長崎	10	0		0
熊本	247	133		133
大分	94	94		94
宮崎				
鹿児島				
沖縄				
都道府県別枠計	185,314	183,537		183,537
指定なし	21,686	21,686		21,686
合計	185,314	205,223		205,223
	うちCPTPP分			7,000

	買入予定数量 ①	合計落札数量 ②	落札比率 ②/①	落札残 ①-②
備蓄米入札 落札結果	207,000	205,223	99.1%	1,777

## 令和3年産備蓄米の政府買入予定数量

備蓄米の政府買入予定数量	20万7千トン
うちCPTPP分	7千トン

(単位：トン)

都道府県別優先枠（第2回）	1,777
岐 阜	335
静 岡	20
滋 賀	59
鳥 取	300
岡 山	425
広 島	20
高 知	10
福 岡	264
佐 賀	220
長 崎	10
熊 本	114

### 令和3年産備蓄米の政府買入れの当面のスケジュール(予定)

入札日	契約締結時期	引渡開始時期
1月26日 (第1回)	令和3年4月末まで	令和3年9月1日
2月16日 (第2回)		

※1 入札公告現在の予定である。

※2 原則として第3回までの入札においては、都道府県別優先枠を設けることとする。ただし、当該回の入札で都道府県別優先枠が全て落札された場合はこの限りでない。

## Ⅱ 米の民間在庫情報

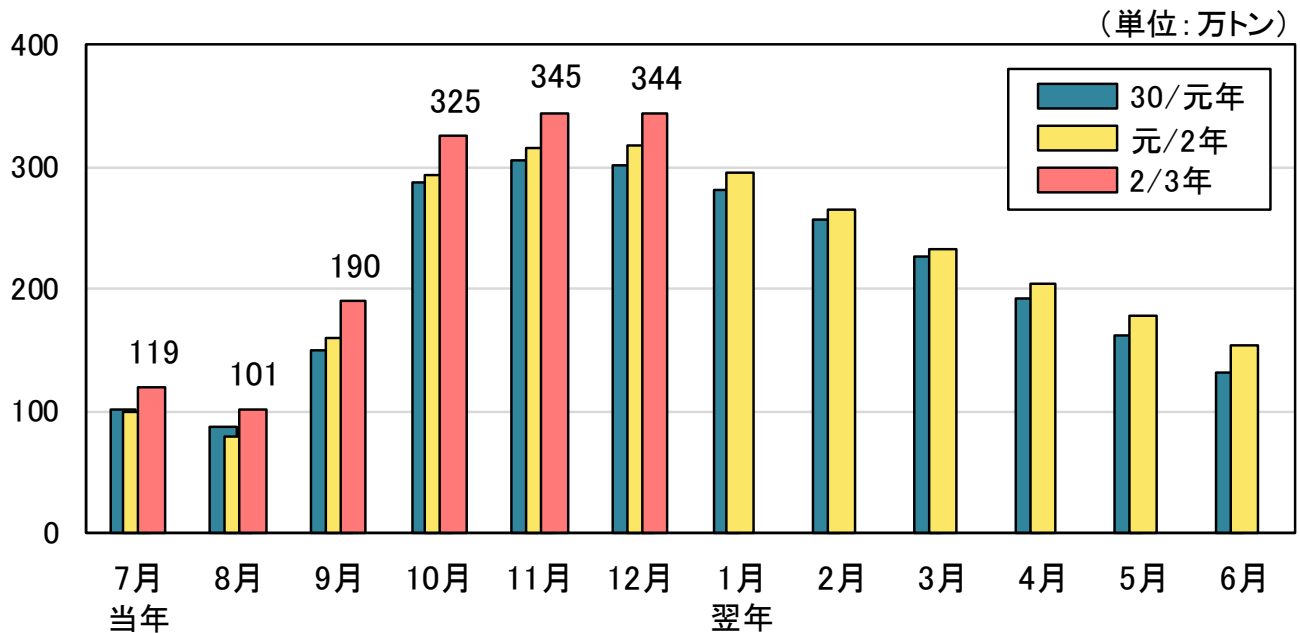
### 1 民間在庫の推移

#### (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和2年12月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差+26万トンの344万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差+25万トン、販売段階で+1万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫4」以降を参照。



# 【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

## 【出荷＋販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	(注7) 119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	(注7) 114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+14	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	325	345	344						
対前年差	+20	+21	+29	+31	+30	+26						
2年産米	0	12	123	267	297	307						
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	30						

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 期間については、2/3年であれば、令和2年7月～3年6月である。  
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。  
 6 26年産米以降は、政府備蓄米を含まない（元年産は、2年1月末在庫公表時点においてそれ以前の月末在庫にも遡及して整理。）。25年産以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。  
 7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

## 【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
元/2年	84	70	151	266	286	286						
対前年差	+10	+15	+23	+28	+28	+25						
2年産米	0	9	108	237	264	271						
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14						

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## 【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58						
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1						
2年産米	0	3	15	30	34	36						
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16						

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

在庫3

## (2) 産地別民間在庫の状況（前年同月差）

単位：千玄米トン

	元/2年		2/3年			
	元年 11月 ①	元年 12月 ②	2年 11月 ③	対前年 同月差 ④=③-①	2年 12月 ⑤	対前年 同月差 ⑥=⑤-②
北海道	309.8	320.9	385.1	+ 75.2	383.3	+ 62.4
青森	149.3	185.9	168.4	+ 19.1	188.5	+ 2.6
岩手	138.6	151.8	155.5	+ 17.0	188.8	+ 36.9
宮城	153.5	154.4	182.3	+ 28.8	185.4	+ 31.0
秋田	284.3	274.9	300.5	+ 16.2	286.7	+ 11.8
山形	188.4	190.2	229.8	+ 41.4	234.4	+ 44.2
福島	233.5	230.1	221.7	▲ 11.7	223.3	▲ 6.8
茨城	121.0	115.3	144.8	+ 23.8	135.8	+ 20.5
栃木	157.9	153.2	183.3	+ 25.4	181.8	+ 28.6
群馬	16.5	24.9	17.8	+ 1.3	17.4	▲ 7.5
埼玉	30.0	30.9	44.7	+ 14.8	47.8	+ 16.8
千葉	89.2	84.4	92.9	+ 3.6	92.1	+ 7.7
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	0.0	▲ 0.0
神奈川	1.7	1.6	2.3	+ 0.6	2.0	+ 0.5
山梨	4.7	5.6	3.8	▲ 0.9	5.2	▲ 0.4
長野	76.1	74.7	78.0	+ 1.9	73.2	▲ 1.5
静岡	19.4	18.2	18.3	▲ 1.1	16.5	▲ 1.7
新潟	306.2	281.1	328.4	+ 22.2	301.3	+ 20.1
富山	91.0	84.8	105.2	+ 14.2	100.2	+ 15.5
石川	58.2	52.3	72.3	+ 14.0	66.6	+ 14.4
福井	61.9	66.4	67.6	+ 5.7	62.7	▲ 3.7
岐阜	23.1	28.2	22.5	▲ 0.5	26.8	▲ 1.4
愛知	30.2	32.0	37.7	+ 7.5	37.2	+ 5.1
三重	39.6	37.4	36.9	▲ 2.8	34.5	▲ 2.9
滋賀	60.4	64.1	64.1	+ 3.7	59.2	▲ 4.8
京都	11.7	11.1	12.5	+ 0.8	11.7	+ 0.7
大阪	1.2	1.9	0.9	▲ 0.3	1.5	▲ 0.4
兵庫	48.4	43.9	47.3	▲ 1.1	44.8	+ 0.8
奈良	9.2	8.7	8.1	▲ 1.1	7.7	▲ 1.0
和歌山	1.0	1.1	0.9	▲ 0.1	1.0	▲ 0.0
鳥取	23.5	28.1	24.9	+ 1.4	25.9	▲ 2.1
島根	25.2	27.2	24.6	▲ 0.6	27.9	+ 0.7
岡山	45.0	45.0	42.3	▲ 2.6	46.4	+ 1.5
広島	37.2	33.9	38.0	+ 0.8	34.4	+ 0.5
山口	31.3	30.4	20.6	▲ 10.7	18.7	▲ 11.6
徳島	12.2	11.1	15.1	+ 2.9	13.7	+ 2.5
香川	17.4	16.3	18.0	+ 0.6	17.7	+ 1.4
愛媛	10.3	10.6	10.5	+ 0.2	9.5	▲ 1.1
高知	8.3	7.3	8.7	+ 0.4	7.2	▲ 0.1
福岡	40.0	49.4	35.8	▲ 4.2	44.6	▲ 4.8
佐賀	22.7	23.6	22.5	▲ 0.3	23.3	▲ 0.3
長崎	8.1	8.5	7.1	▲ 1.0	7.8	▲ 0.7
熊本	37.5	43.7	41.0	+ 3.5	42.9	▲ 0.8
大分	15.9	16.4	13.1	▲ 2.8	13.2	▲ 3.2
宮崎	10.4	11.2	12.1	+ 1.8	10.3	▲ 0.8
鹿児島	20.1	19.1	20.9	+ 0.8	19.8	+ 0.7
沖縄	0.4	0.3	0.2	▲ 0.2	0.2	▲ 0.2
全国	3,150.0	3,180.0	3,450.0	+ 300.0	3,440.0	+ 260.0

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」「米の農産物検査結果」

注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 農産物検査数量は、水稻うるち玄米の検査数量である。

### (3) 令和元・2年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

(北海道から秋田)							(山形から埼玉)								
							(単位:千玄米トン)								
		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月			2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	出荷+販売段階	113.9	84.6	141.8	336.2	385.1	383.3	山形	出荷+販売段階	85.4	69.0	97.9	216.6	229.8	234.4
	2年産米			85.0	285.0	343.0	351.6		2年産米		0.0	46.6	169.6	194.5	206.9
	1年古米(元年産)	109.0	80.6	53.4	48.4	39.7	29.7		1年古米(元年産)	83.3	67.2	49.9	45.9	34.4	26.7
	出荷段階	86.4	60.6	112.6	260.4	310.6	309.6		出荷段階	72.7	56.6	85.6	195.8	210.1	212.0
	2年産米			72.6	234.5	289.8	294.7		2年産米			45.8	162.2	185.6	196.6
	1年古米(元年産)	85.0	59.5	39.0	25.1	20.0	14.1		1年古米(元年産)	72.0	56.0	39.2	33.3	24.2	15.1
	販売段階	27.6	23.9	29.2	75.7	74.5	73.7		販売段階	12.7	12.4	12.3	20.8	19.7	22.4
	2年産米			12.4	50.5	53.2	56.9		2年産米		0.0	0.7	7.4	8.9	10.3
	1年古米(元年産)	24.0	21.1	14.3	23.3	19.7	15.6		1年古米(元年産)	11.2	11.2	10.7	12.7	10.2	11.6
青森	出荷+販売段階	76.0	61.1	82.7	159.9	168.4	188.5	福島	出荷+販売段階	103.7	87.1	89.8	224.1	221.7	223.3
	2年産米			39.5	126.0	139.2	167.0		2年産米		0.0	20.0	156.1	172.4	185.4
	1年古米(元年産)	75.1	60.4	42.7	33.4	28.7	21.1		1年古米(元年産)	101.9	85.7	69.0	67.4	48.8	37.4
	出荷段階	54.4	42.5	67.1	136.8	143.9	166.5		出荷段階	79.7	68.5	73.0	182.3	175.7	182.7
	2年産米			38.7	119.3	130.5	157.1		2年産米		0.0	19.1	142.8	151.2	162.3
	1年古米(元年産)	54.4	42.5	28.4	17.5	13.4	9.4		1年古米(元年産)	79.0	68.0	53.8	39.3	24.4	20.3
	販売段階	21.5	18.5	15.6	23.0	24.5	22.0		販売段階	23.9	18.7	16.8	41.8	46.0	40.6
	2年産米			0.8	6.7	8.7	9.9		2年産米		0.0	1.0	13.2	21.3	23.1
	1年古米(元年産)	20.7	17.9	14.2	15.8	15.3	11.6		1年古米(元年産)	22.9	17.7	15.2	28.1	24.4	17.1
岩手	出荷+販売段階	67.9	49.6	47.2	132.5	155.5	188.8	茨城	出荷+販売段階	36.0	45.8	125.9	143.3	144.8	135.8
	2年産米			11.3	97.9	128.6	170.6		2年産米		20.2	106.3	127.5	131.3	127.0
	1年古米(元年産)	66.3	48.3	34.7	33.7	26.1	17.4		1年古米(元年産)	34.9	24.8	18.7	15.1	12.9	8.3
	出荷段階	49.2	37.5	38.5	110.3	133.7	168.4		出荷段階	19.4	25.5	83.9	98.0	100.9	94.7
	2年産米			10.5	89.3	117.9	159.2		2年産米		13.0	76.2	92.7	97.2	92.8
	1年古米(元年産)	48.6	36.9	27.5	20.5	15.4	8.8		1年古米(元年産)	19.2	12.4	7.6	5.2	3.6	1.9
	販売段階	18.6	12.1	8.6	22.2	21.9	20.4		販売段階	16.6	20.3	42.0	45.3	44.0	41.1
	2年産米			0.9	8.6	10.7	11.4		2年産米		7.1	30.1	34.8	34.1	34.2
	1年古米(元年産)	17.7	11.4	7.2	13.2	10.7	8.6		1年古米(元年産)	15.6	12.4	11.1	9.8	9.3	6.5
宮城	出荷+販売段階	89.1	68.9	91.6	187.2	182.3	185.4	栃木	出荷+販売段階	65.3	52.5	111.3	160.7	183.3	181.8
	2年産米		0.0	41.0	141.5	148.4	158.6		2年産米		0.0	69.0	125.8	154.4	158.7
	1年古米(元年産)	87.2	67.3	49.2	44.6	32.9	26.0		1年古米(元年産)	64.3	51.8	41.7	34.6	28.7	23.0
	出荷段階	66.9	52.3	76.6	159.9	157.8	157.8		出荷段階	40.4	32.9	91.2	135.3	156.7	157.5
	2年産米			38.6	130.7	136.3	145.3		2年産米		0.0	63.5	112.5	138.7	141.8
	1年古米(元年産)	66.7	52.1	37.9	29.2	21.4	12.4		1年古米(元年産)	40.3	32.8	27.7	22.8	18.0	15.7
	販売段階	22.3	16.6	15.0	27.3	24.6	27.6		販売段階	24.9	19.6	20.1	25.4	26.6	24.3
	2年産米		0.0	2.5	10.8	12.2	13.3		2年産米			5.5	13.3	15.7	16.8
	1年古米(元年産)	20.5	15.1	11.3	15.4	11.5	13.6		1年古米(元年産)	24.0	19.0	14.0	11.9	10.7	7.3
秋田	出荷+販売段階	83.6	57.2	140.5	290.8	300.5	286.7	群馬	出荷+販売段階	8.1	6.7	5.5	11.5	17.8	17.4
	2年産米			106.4	264.2	279.4	270.0		2年産米			0.4	7.6	15.0	15.2
	1年古米(元年産)	83.2	56.9	33.9	26.5	20.9	16.6		1年古米(元年産)	8.0	6.6	5.0	3.8	2.8	2.2
	出荷段階	63.0	42.0	126.6	267.7	273.8	258.4		出荷段階	5.9	5.0	4.2	9.7	15.3	14.4
	2年産米			103.1	252.1	264.0	251.3		2年産米			0.4	7.1	13.6	13.3
	1年古米(元年産)	62.9	41.9	23.5	15.5	9.8	7.1		1年古米(元年産)	5.9	5.0	3.8	2.5	1.7	1.0
	販売段階	20.6	15.2	13.9	23.1	26.7	28.3		販売段階	2.2	1.7	1.3	1.8	2.5	3.0
	2年産米			3.3	12.1	15.4	18.7		2年産米			0.1	0.5	1.3	1.9
	1年古米(元年産)	20.3	15.0	10.4	10.9	11.2	9.4		1年古米(元年産)	2.1	1.7	1.2	1.2	1.1	1.1
山形	出荷+販売段階	10.4	7.7	17.1	32.9	44.7	47.8	埼玉	出荷+販売段階	10.4	7.0	5.5	3.5	2.6	2.0
	2年産米		0.7	11.6	29.3	42.1	45.7		2年産米						
	1年古米(元年産)	10.4	7.0	5.5	3.5	2.6	2.0		1年古米(元年産)	10.4	7.0	5.5	3.5	2.6	2.0
	出荷段階	7.4	4.7	12.1	25.6	36.6	39.4		出荷段階	7.4	4.7	12.1	25.6	36.6	39.4
	2年産米		0.3	9.6	24.2	35.6	38.7		2年産米		0.3	9.6	24.2	35.6	38.7
	1年古米(元年産)	7.4	4.4	2.5	1.4	1.0	0.7		1年古米(元年産)	7.4	4.4	2.5	1.4	1.0	0.7
	販売段階	3.0	3.0	5.0	7.2	8.2	8.4		販売段階	3.0	3.0	5.0	7.2	8.2	8.4
	2年産米		0.4	1.9	5.1	6.5	7.0		2年産米		0.4	1.9	5.1	6.5	7.0
	1年古米(元年産)	3.0	2.6	3.0	2.1	1.6	1.4		1年古米(元年産)	3.0	2.6	3.0	2.1	1.6	1.4

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(千葉から静岡)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	出荷+販売段階	15.4	49.2	104.5	98.1	92.9	92.1
	2年産米		40.0	97.5	92.8	88.8	88.9
	1年古米(元年産)	15.2	9.1	6.9	5.2	3.9	3.2
	出荷段階	4.0	38.2	89.1	84.5	80.4	76.7
	2年産米		36.8	88.4	84.0	80.0	76.3
	1年古米(元年産)	4.0	1.4	0.7	0.5	0.4	0.4
	販売段階	11.4	11.0	15.4	13.6	12.4	15.4
	2年産米		3.2	9.1	8.9	8.9	12.6
	1年古米(元年産)	11.2	7.7	6.2	4.6	3.5	2.8
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年産米				0.0	0.0	0.0
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階						
	2年産米						
	1年古米(元年産)						
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年産米				0.0	0.0	0.0
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
神奈川	出荷+販売段階	0.6	0.5	0.6	2.3	2.3	2.0
	2年産米			0.3	2.1	2.2	2.0
	1年古米(元年産)	0.6	0.5	0.4	0.2	0.1	0.0
	出荷段階	0.6	0.5	0.6	2.2	2.3	2.0
	2年産米			0.3	2.1	2.2	2.0
	1年古米(元年産)	0.6	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0
	販売段階	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
	2年産米			0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米(元年産)	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
山梨	出荷+販売段階	2.0	1.4	1.7	3.7	3.8	5.2
	2年産米		0.0	0.8	3.1	3.4	5.0
	1年古米(元年産)	2.0	1.4	0.9	0.6	0.4	0.2
	出荷段階	1.7	1.2	1.4	3.3	3.2	4.5
	2年産米			0.8	2.9	3.0	4.4
	1年古米(元年産)	1.7	1.2	0.6	0.4	0.2	0.1
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.5	0.6	0.7
	2年産米		0.0	0.0	0.2	0.4	0.6
	1年古米(元年産)	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
長野	出荷+販売段階	29.6	20.8	30.3	65.3	78.0	73.2
	2年産米			15.4	49.7	66.1	65.7
	1年古米(元年産)	29.0	20.4	14.5	15.3	11.7	7.4
	出荷段階	20.6	15.3	25.3	53.8	67.2	64.2
	2年産米			14.5	47.1	62.3	61.2
	1年古米(元年産)	20.5	15.3	10.8	6.6	4.9	2.9
	販売段階	9.0	5.5	4.9	11.5	10.7	9.0
	2年産米			0.9	2.6	3.8	4.5
	1年古米(元年産)	8.5	5.1	3.7	8.7	6.8	4.4
静岡	出荷+販売段階	3.5	5.3	16.2	19.6	18.3	16.5
	2年産米		3.0	14.7	18.8	17.8	16.0
	1年古米(元年産)	3.5	2.3	1.5	0.8	0.5	0.5
	出荷段階	1.2	2.1	9.9	12.9	12.3	11.2
	2年産米		1.5	9.5	12.7	12.2	11.1
	1年古米(元年産)	1.2	0.7	0.4	0.2	0.1	0.1
	販売段階	2.4	3.2	6.3	6.7	6.1	5.3
	2年産米		1.6	5.2	6.1	5.6	4.9
	1年古米(元年産)	2.3	1.6	1.1	0.7	0.5	0.4

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
新潟	出荷+販売段階	84.7	53.6	225.0	327.0	328.4	301.3
	2年産米		0.3	189.1	298.2	304.3	282.2
	1年古米(元年産)	83.9	52.8	35.5	28.5	23.8	18.7
	出荷段階	62.3	36.4	199.9	290.9	292.5	264.9
	2年産米		0.1	175.6	275.1	280.4	256.1
	1年古米(元年産)	62.1	36.2	24.3	15.8	12.0	8.8
	販売段階	22.4	17.2	25.1	36.1	35.9	36.4
	2年産米		0.1	13.5	23.1	23.8	26.2
	1年古米(元年産)	21.8	16.7	11.2	12.7	11.8	10.0
富山	出荷+販売段階	25.8	19.9	79.2	103.9	105.2	100.2
	2年産米		1.1	65.8	96.5	98.1	94.4
	1年古米(元年産)	25.5	18.6	13.2	7.2	7.0	5.7
	出荷段階	16.8	12.9	69.2	91.7	93.5	88.7
	2年産米		0.8	61.0	91.0	92.9	88.2
	1年古米(元年産)	16.8	12.1	8.2	0.7	0.6	0.4
	販売段階	9.0	7.0	10.0	12.2	11.8	11.6
	2年産米		0.3	4.8	5.5	5.2	6.2
	1年古米(元年産)	8.7	6.5	5.1	6.5	6.4	5.3
石川	出荷+販売段階	16.6	11.6	54.4	75.4	72.3	66.6
	2年産米		1.2	46.5	69.0	66.9	62.1
	1年古米(元年産)	16.1	10.2	7.7	6.2	5.3	4.4
	出荷段階	10.0	6.8	35.4	53.4	51.4	47.5
	2年産米		0.5	30.7	49.8	48.3	45.2
	1年古米(元年産)	9.7	6.2	4.6	3.5	3.0	2.3
	販売段階	6.6	4.8	18.9	22.0	20.8	19.1
	2年産米		0.7	15.7	19.2	18.6	16.9
	1年古米(元年産)	6.4	4.0	3.1	2.7	2.2	2.1
福井	出荷+販売段階	22.3	19.2	47.9	71.6	67.6	62.7
	2年産米		3.2	35.8	61.9	59.7	55.6
	1年古米(元年産)	22.0	15.8	11.9	9.4	7.8	7.0
	出荷段階	15.3	12.3	33.6	52.7	50.9	46.5
	2年産米		2.1	26.1	49.0	48.2	44.2
	1年古米(元年産)	15.2	10.2	7.5	3.7	2.8	2.3
	販売段階	7.0	7.0	14.3	18.8	16.7	16.2
	2年産米		1.1	9.7	12.9	11.5	11.3
	1年古米(元年産)	6.8	5.6	4.5	5.8	5.0	4.7
岐阜	出荷+販売段階	14.3	12.4	13.2	18.6	22.5	26.8
	2年産米		0.9	3.6	9.7	14.7	20.5
	1年古米(元年産)	13.3	10.7	8.9	8.3	7.3	5.8
	出荷段階	8.5	5.3	6.4	9.2	12.6	18.2
	2年産米		0.6	2.6	7.2	11.3	17.3
	1年古米(元年産)	8.5	4.7	3.8	2.0	1.2	0.8
	販売段階	5.8	7.1	6.8	9.4	10.0	8.7
	2年産米		0.3	1.0	2.5	3.4	3.2
	1年古米(元年産)	4.9	6.0	5.2	6.3	6.0	5.0
愛知	出荷+販売段階	12.3	11.1	16.5	26.0	37.7	37.2
	2年産米		1.9	9.9	22.4	34.9	35.1
	1年古米(元年産)	12.0	9.1	6.5	3.5	2.8	2.1
	出荷段階	9.7	8.6	13.0	20.5	30.3	30.0
	2年産米		1.4	8.2	18.4	29.5	29.5
	1年古米(元年産)	9.7	7.2	4.8	2.1	0.8	0.5
	販売段階	2.6	2.5	3.5	5.5	7.5	7.2
	2年産米		0.5	1.7	4.0	5.4	5.5
	1年古米(元年産)	2.4	1.9	1.7	1.4	2.0	1.6

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。



(三重から奈良)

(和歌山から山口)

(単位:千玄トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
三重	出荷+販売段階	7.6	15.1	34.2	37.7	36.9	34.5	
	2年産米		10.3	30.7	35.2	34.7	32.7	
	1年古米(元年産)	6.7	3.8	2.7	2.4	2.1	1.8	
	出荷段階	5.6	11.6	29.7	32.9	32.2	29.8	
	2年産米		8.3	27.2	31.1	30.6	28.5	
	1年古米(元年産)	4.9	2.7	2.1	1.8	1.6	1.4	
	販売段階	2.0	3.4	4.4	4.9	4.7	4.7	
	2年産米		2.0	3.6	4.2	4.1	4.2	
	1年古米(元年産)	1.8	1.1	0.7	0.6	0.5	0.5	
	滋賀	出荷+販売段階	19.1	16.3	53.7	67.9	64.1	59.2
		2年産米		2.4	40.7	57.2	55.1	52.0
		1年古米(元年産)	17.4	12.5	11.6	9.5	8.2	6.5
出荷段階		14.8	12.5	47.5	61.0	57.6	52.5	
2年産米			2.1	38.8	54.2	51.7	48.0	
1年古米(元年産)		13.4	9.2	7.5	5.9	5.1	4.0	
販売段階		4.3	3.9	6.2	6.8	6.6	6.7	
2年産米			0.3	1.9	3.1	3.3	4.0	
1年古米(元年産)		4.0	3.4	4.1	3.6	3.1	2.6	
京都		出荷+販売段階	4.5	3.4	10.4	13.1	12.5	11.7
		2年産米		0.0	8.0	11.6	11.4	10.9
		1年古米(元年産)	4.5	3.3	2.4	1.5	1.1	0.8
	出荷段階	3.6	2.5	9.2	11.6	10.9	10.2	
	2年産米		0.0	7.5	10.9	10.5	9.8	
	1年古米(元年産)	3.6	2.5	1.7	0.7	0.4	0.4	
	販売段階	0.9	0.9	1.2	1.5	1.6	1.6	
	2年産米			0.5	0.7	0.9	1.1	
	1年古米(元年産)	0.9	0.9	0.7	0.8	0.7	0.5	
	大阪	出荷+販売段階	0.5	0.4	0.4	0.5	0.9	1.5
		2年産米			0.2	0.4	0.8	1.5
		1年古米(元年産)	0.5	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0
出荷段階		0.4	0.3	0.3	0.4	0.8	1.2	
2年産米				0.2	0.4	0.8	1.2	
1年古米(元年産)		0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	
販売段階		0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	
2年産米					0.0	0.0	0.2	
1年古米(元年産)		0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
兵庫		出荷+販売段階	18.9	15.3	30.3	41.8	47.3	44.8
		2年産米		0.0	18.4	34.3	41.3	39.7
		1年古米(元年産)	18.7	15.1	11.8	7.3	5.9	4.9
	出荷段階	16.1	13.2	27.3	36.7	42.3	40.0	
	2年産米			16.9	31.2	37.9	36.4	
	1年古米(元年産)	16.1	13.2	10.4	5.4	4.4	3.6	
	販売段階	2.9	2.1	3.1	5.1	5.0	4.8	
	2年産米		0.0	1.5	3.1	3.3	3.4	
	1年古米(元年産)	2.7	1.9	1.4	1.9	1.6	1.3	
	奈良	出荷+販売段階	3.4	2.5	2.5	6.1	8.1	7.7
		2年産米			0.9	5.1	7.3	7.0
		1年古米(元年産)	3.2	2.4	1.5	0.9	0.8	0.6
出荷段階		2.2	1.6	1.1	4.2	6.1	6.0	
2年産米				0.8	4.2	6.1	5.9	
1年古米(元年産)		2.2	1.6	0.3	0.0	0.0	0.0	
販売段階		1.2	0.8	1.4	1.9	2.0	1.7	
2年産米				0.1	0.9	1.2	1.1	
1年古米(元年産)		1.1	0.8	1.2	0.9	0.8	0.6	

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
和歌山	出荷+販売段階	0.6	0.6	0.8	1.0	0.9	1.0	
	2年産米		0.0	0.3	0.5	0.5	0.7	
	1年古米(元年産)	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	
	出荷段階		0.0	0.3	0.3	0.3	0.2	
	2年産米		0.0	0.3	0.3	0.3	0.2	
	1年古米(元年産)							
	販売段階	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	0.8	
	2年産米			0.1	0.2	0.3	0.5	
	1年古米(元年産)	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	
	鳥取	出荷+販売段階	9.3	6.1	10.5	24.1	24.9	25.9
		2年産米		0.0	6.5	20.9	22.5	24.4
		1年古米(元年産)	9.2	6.0	3.9	3.2	2.4	1.5
出荷段階		6.6	4.4	8.8	21.0	21.7	23.1	
2年産米			0.0	6.0	19.5	20.7	22.6	
1年古米(元年産)		6.6	4.4	2.8	1.4	1.0	0.5	
販売段階		2.8	1.7	1.7	3.2	3.2	2.8	
2年産米				0.5	1.4	1.8	1.8	
1年古米(元年産)		2.6	1.6	1.1	1.8	1.4	1.1	
島根		出荷+販売段階	6.7	4.5	17.3	24.5	24.6	27.9
		2年産米		0.3	14.6	22.7	23.2	26.8
		1年古米(元年産)	6.5	4.0	2.6	1.7	1.3	1.0
	出荷段階	4.9	3.0	15.2	21.0	21.2	24.6	
	2年産米		0.3	13.4	20.2	20.6	24.2	
	1年古米(元年産)	4.9	2.7	1.8	0.8	0.6	0.4	
	販売段階	1.8	1.5	2.1	3.5	3.4	3.3	
	2年産米		0.0	1.2	2.4	2.6	2.6	
	1年古米(元年産)	1.6	1.4	0.9	0.9	0.7	0.6	
	岡山	出荷+販売段階	23.1	18.3	25.0	34.6	42.3	46.4
		2年産米		0.0	9.8	24.5	35.3	41.7
		1年古米(元年産)	22.8	18.1	15.0	9.9	7.0	4.7
出荷段階		17.6	13.5	15.6	25.6	34.0	39.0	
2年産米				8.5	21.8	31.6	37.4	
1年古米(元年産)		17.5	13.4	7.1	3.6	2.4	1.6	
販売段階		5.4	4.8	9.4	9.0	8.3	7.4	
2年産米			0.0	1.3	2.7	3.6	4.2	
1年古米(元年産)		5.3	4.7	8.0	6.3	4.6	3.1	
広島		出荷+販売段階	11.2	8.4	23.7	38.1	38.0	34.4
		2年産米		0.1	18.0	34.3	35.0	32.2
		1年古米(元年産)	10.6	7.8	5.3	3.4	2.7	2.0
	出荷段階	7.3	4.9	19.0	30.5	30.4	27.5	
	2年産米		0.1	16.1	30.0	30.0	27.2	
	1年古米(元年産)	7.3	4.8	2.9	0.5	0.4	0.3	
	販売段階	3.9	3.5	4.7	7.7	7.6	7.0	
	2年産米		0.0	1.9	4.4	5.0	5.0	
	1年古米(元年産)	3.3	3.0	2.4	3.0	2.3	1.7	
	山口	出荷+販売段階	11.0	8.6	15.5	21.2	20.6	18.7
		2年産米		0.3	9.4	16.9	17.3	16.3
		1年古米(元年産)	10.9	8.2	6.1	4.3	3.2	2.4
出荷段階		9.1	7.1	14.1	16.8	16.4	15.0	
2年産米			0.2	9.0	16.0	16.3	14.9	
1年古米(元年産)		9.1	6.9	5.1	0.8	0.1	0.0	
販売段階		1.9	1.5	1.4	4.4	4.3	3.8	
2年産米			0.1	0.4	0.9	1.1	1.4	
1年古米(元年産)		1.8	1.4	0.9	3.4	3.2	2.4	

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

在庫7

(徳島から佐賀)

(長崎から沖縄)

(単位:千玄トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
徳島	出荷+販売段階	3.0	10.8	17.3	16.5	15.1	13.7
	2年産米		8.5	15.2	14.8	13.6	12.3
	1年古米(元年産)	2.8	2.1	1.9	1.5	1.4	1.3
	出荷段階	0.9	8.1	13.7	13.0	11.5	10.3
	2年産米		7.4	13.3	12.7	11.3	10.1
	1年古米(元年産)	0.9	0.7	0.4	0.3	0.2	0.2
	販売段階	2.1	2.7	3.6	3.4	3.5	3.4
	2年産米		1.1	1.9	2.1	2.3	2.2
	1年古米(元年産)	1.8	1.4	1.5	1.3	1.2	1.1
香川	出荷+販売段階	6.6	5.7	7.1	13.8	18.0	17.7
	2年産米		0.6	3.3	11.9	16.7	16.7
	1年古米(元年産)	6.4	4.9	3.6	1.8	1.2	0.9
	出荷段階	5.7	4.5	5.1	12.0	16.4	16.5
	2年産米		0.5	2.9	11.3	16.0	16.2
	1年古米(元年産)	5.7	4.0	2.2	0.7	0.4	0.3
	販売段階	0.9	1.2	2.0	1.8	1.6	1.3
	2年産米		0.1	0.4	0.6	0.6	0.6
	1年古米(元年産)	0.7	0.9	1.4	1.0	0.8	0.6
愛媛	出荷+販売段階	2.7	3.7	5.8	9.5	10.5	9.5
	2年産米		1.8	4.5	8.4	9.6	8.8
	1年古米(元年産)	2.5	1.8	1.2	1.0	0.8	0.7
	出荷段階	2.1	3.3	5.4	9.1	10.1	9.2
	2年産米		1.8	4.3	8.2	9.4	8.6
	1年古米(元年産)	2.0	1.4	1.0	0.9	0.6	0.6
	販売段階	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3
	2年産米		0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
	1年古米(元年産)	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
高知	出荷+販売段階	2.0	8.0	7.8	9.3	8.7	7.2
	2年産米	0.1	6.4	6.5	8.2	7.7	7.0
	1年古米(元年産)	1.6	1.2	1.0	0.8	0.8	0.1
	出荷段階	0.2	3.1	3.0	4.5	3.5	3.3
	2年産米	0.0	3.1	3.0	4.5	3.5	3.3
	1年古米(元年産)	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.9	4.9	4.7	4.8	5.1	3.9
	2年産米	0.0	3.4	3.5	3.8	4.2	3.6
	1年古米(元年産)	1.5	1.2	1.0	0.8	0.8	0.1
福岡	出荷+販売段階	13.8	9.6	18.1	29.0	35.8	44.6
	2年産米		0.6	12.8	25.6	33.5	43.2
	1年古米(元年産)	13.4	8.7	5.1	3.2	2.1	1.3
	出荷段階	10.7	7.0	12.6	21.1	28.4	38.2
	2年産米		0.4	8.8	19.8	27.6	37.7
	1年古米(元年産)	10.6	6.6	3.7	1.2	0.7	0.5
	販売段階	3.1	2.6	5.5	7.9	7.4	6.4
	2年産米		0.2	4.0	5.8	5.9	5.5
	1年古米(元年産)	2.8	2.2	1.4	2.0	1.4	0.8
佐賀	出荷+販売段階	10.6	9.7	9.1	20.6	22.5	23.3
	2年産米		1.1	2.9	16.9	18.8	20.4
	1年古米(元年産)	10.5	8.5	6.1	3.7	3.7	2.9
	出荷段階	7.8	7.6	7.3	16.1	17.6	19.2
	2年産米		1.0	2.7	16.1	17.6	19.2
	1年古米(元年産)	7.8	6.5	4.7	0.0	0.0	0.0
	販売段階	2.8	2.1	1.7	4.5	4.8	4.2
	2年産米		0.1	0.2	0.8	1.2	1.2
	1年古米(元年産)	2.7	2.0	1.5	3.7	3.6	2.9

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
長崎	出荷+販売段階	2.4	2.3	2.5	6.0	7.1	7.8
	2年産米		0.5	1.2	4.8	6.2	7.2
	1年古米(元年産)	2.3	1.7	1.2	1.1	0.9	0.5
	出荷段階	2.1	2.0	2.2	5.1	6.3	7.2
	2年産米		0.4	1.1	4.6	5.9	6.9
	1年古米(元年産)	2.1	1.6	1.1	0.5	0.4	0.2
	販売段階	0.3	0.3	0.3	1.0	0.8	0.6
	2年産米		0.1	0.1	0.3	0.3	0.3
	1年古米(元年産)	0.2	0.2	0.1	0.6	0.5	0.3
熊本	出荷+販売段階	14.1	11.4	12.3	33.2	41.0	42.9
	2年産米		1.5	5.5	28.5	37.4	39.9
	1年古米(元年産)	12.9	8.8	5.9	3.9	3.2	2.6
	出荷段階	9.0	6.6	6.6	22.5	30.2	33.5
	2年産米		0.6	3.2	20.6	28.8	32.2
	1年古米(元年産)	8.9	5.9	3.4	1.9	1.5	1.2
	販売段階	5.1	4.8	5.7	10.7	10.8	9.5
	2年産米		0.9	2.3	8.0	8.6	7.7
	1年古米(元年産)	4.0	2.9	2.5	2.1	1.7	1.4
大分	出荷+販売段階	4.1	3.3	4.7	10.0	13.1	13.2
	2年産米		0.4	2.8	8.8	12.3	12.7
	1年古米(元年産)	4.0	2.8	1.8	1.2	0.8	0.5
	出荷段階	2.6	2.0	3.0	6.1	7.9	8.1
	2年産米		0.3	1.9	5.7	7.7	8.0
	1年古米(元年産)	2.6	1.8	1.1	0.4	0.2	0.1
	販売段階	1.5	1.3	1.7	4.0	5.2	5.0
	2年産米		0.1	0.9	3.0	4.6	4.6
	1年古米(元年産)	1.4	1.1	0.7	0.9	0.6	0.4
宮崎	出荷+販売段階	3.6	6.7	3.2	10.5	12.1	10.3
	2年産米	1.6	5.3	2.5	10.0	11.8	10.1
	1年古米(元年産)	1.9	1.3	0.6	0.4	0.3	0.2
	出荷段階	1.9	3.1	0.3	7.3	9.1	7.5
	2年産米	0.8	2.5	0.2	7.3	9.0	7.5
	1年古米(元年産)	1.1	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.7	3.6	2.8	3.2	3.1	2.8
	2年産米	0.9	2.8	2.2	2.8	2.8	2.6
	1年古米(元年産)	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2
鹿児島	出荷+販売段階	6.9	8.5	7.9	15.9	20.9	19.8
	2年産米	0.4	3.1	3.3	11.8	16.9	16.1
	1年古米(元年産)	5.8	4.9	4.1	3.7	3.6	3.3
	出荷段階	5.0	4.9	4.2	11.2	15.4	14.8
	2年産米	0.0	0.6	0.7	8.2	12.5	12.2
	1年古米(元年産)	4.4	3.7	2.9	2.5	2.5	2.4
	販売段階	1.9	3.6	3.7	4.8	5.5	4.9
	2年産米	0.4	2.4	2.6	3.6	4.4	4.0
	1年古米(元年産)	1.5	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9
沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
	2年産米	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
	2年産米	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0			
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	2年産米	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	1年古米(元年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

在庫8

# Ⅲ 米の価格情報

## 1 相対取引価格・数量

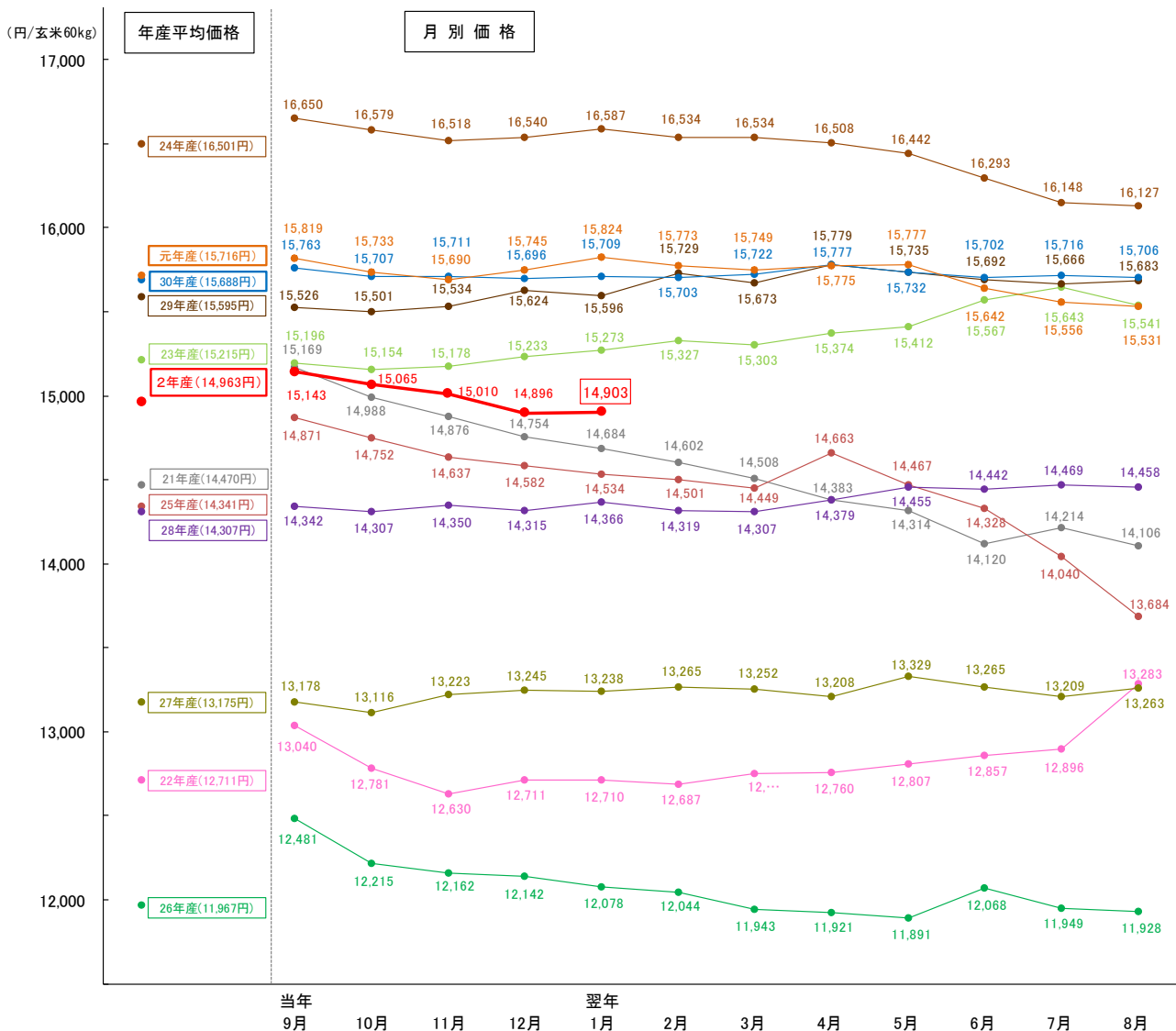
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

### (1) 年産別の相対取引価格

・令和2産米の令和3年1月の相対取引価格は、全銘柄平均で14,903円/60kgとなり、前年同月より▲921円、出回りからの年産平均価格は前年産▲753円の14,963円となったところ。

※ 産地銘柄ごとの価格は、次頁以降を参照。

相対取引価格の推移 (税込)  
(全銘柄平均価格)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3 グラフの左側は年産別の平均価格（注4）、グラフの右側は月別の価格である。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（2年産は令和3年1月）までの通年平均価格（元年産以前は確定値、2年産は速報値。確定値は月毎の速報値公表後の修正を反映させたものである）。







相対取引価格・数量（滋賀から鹿児島まで）

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

Table with columns for Origin (産地), Variety (品種銘柄), Price/Quantity for the current and previous year's crop, and Volume. The table lists various regions and rice varieties, providing detailed pricing and volume data for both the current and previous years.

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格(①)は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格)を加重平均したものであり、数量(②)は、同契約の数量の合計である。

3 価格(①)は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整(等級及び付加価値等(栽培方法等))が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。

6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウエイトで加重平均により算定している(2年産、元年産はいずれも速報値)。

7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウエイトで加重平均により算定している。

8 「一」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産の年産平均価格について、令和2年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和元年産米は、当該年産において報告対象としない産地品種銘柄又は元年産の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないものである。

9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

価格5





(単位：円/玄米60kg税込、玄米トン)

Table with 26 columns: 産地品種銘柄, 元年産 2年 1月, 元年産 2年 2月, 元年産 2年 3月, 元年産 2年 4月, 元年産 2年 5月, 元年産 2年 6月, 元年産 2年 7月, 元年産 2年 8月, 元年産 2年 9月, 2年産 2年 10月, 2年産 2年 11月, 2年産 2年 12月, 2年産 3年 1月, 対前年 同月差 (②-①), 2年産 出回り~3年10月 (③), 元年産 出回り~2年10月 (④), 対前年産 (③-④). Rows include various regions like 滋賀, 京都, 岡山, etc., and their specific rice varieties.

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
3 価格に含む消費税は、令和元年9月以前は0%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以西（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（2年産、元年産はいずれも速報値）。
7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産米の年産平均価格については、令和2年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和元年産米は、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄又は元年産の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないものである。
9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

## 2 スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社）

日本コメ市場株式会社の取引概要につきましては、以下のURLから御覧いただけます。  
【 <https://www.nihonkomeshijyo.co.jp/> 】

〔 ○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。 〕

### 【令和2年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		令和2年 8月	9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
宮城ひとめぼれ	随時				12,600									
秋田あきたこまち	随時		12,972	12,931	13,054	13,077	13,301							
福島中通コシヒカリ	随時			12,272	12,464									
茨城コシヒカリ	随時			12,200			12,403							
栃木コシヒカリ	随時			12,353										

### 【令和元年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		平成30年 8月	9月	10月	11月	12月	平成31年 1月	2月	3月	4月	令和元年 5月	6月	7月	8月
青森まっしぐら	取引会				14,000									
青森つがるロマン	随時				14,243									
宮城ひとめぼれ	随時									14,050			12,955	
秋田あきたこまち	随時		15,010	14,832	14,632	14,900	14,987	14,834	14,350	14,259	13,895	12,143	13,405	
	取引会		15,019		14,879									
福島天のつぶ	取引会						14,183							
茨城コシヒカリ	随時			14,500									12,487	
	取引会				14,550									
栃木コシヒカリ	随時					14,666	14,657			13,780				
栃木とちぎの星	取引会						13,950							
栃木あさひの夢	取引会				13,769									
千葉コシヒカリ	取引会	14,750					14,600							
千葉ふさおとめ	取引会	14,088	14,015											
千葉ふさこがね	取引会	14,024	13,950											
新潟コシヒカリ(一般)	随時		16,794				16,726						13,996	
	取引会		16,755		16,650		16,747							

出典：日本コメ市場株式会社HP

注1：日本コメ市場(随時)の価格は、随時取引(取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引)の下期(16日～月末分。ただし、下期が公表されていない場合は上期)の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

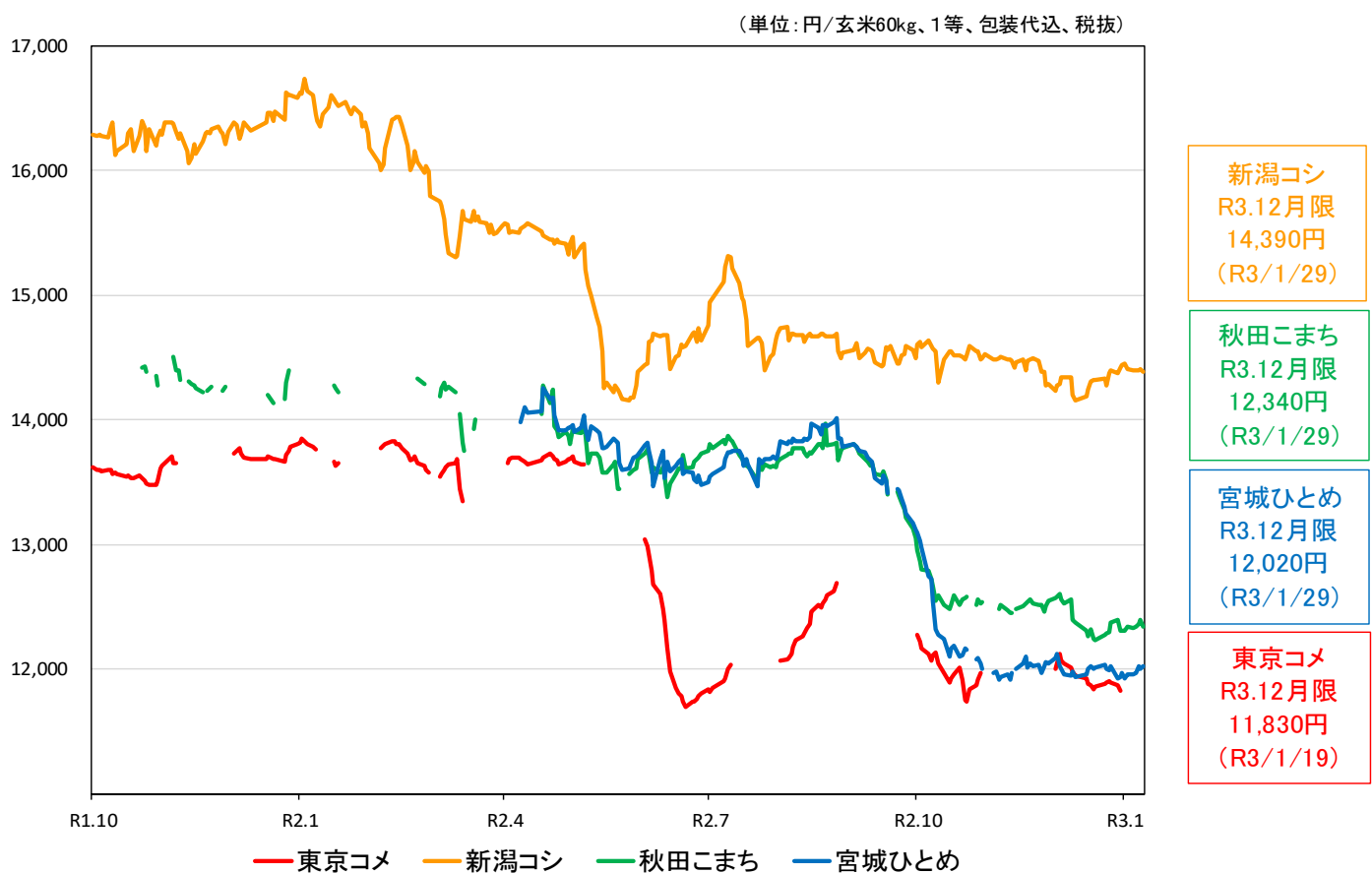
注2：日本コメ市場(取引会)の価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において日本コメ市場、クリスタルライスの共同で開催される取引会での成約価格(取引数量により加重平均)であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

### 3 米の先物取引価格の推移

米の先物取引の情報については、農林水産省ホームページの「食料産業局」の分野別分類「商品先物取引」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html> 】

- 期先限月の終値（1日の最終約定値段）は、  
東京コメが令和3年12月限11,830円（令和3年1月19日）、  
新潟コシが令和3年12月限14,390円（令和3年1月29日）、  
秋田こまちが令和3年12月限12,340円（令和3年1月29日）、  
宮城ひとめが令和3年12月限12,020円（令和3年1月29日） となっている。

#### 価格の推移（期先限月の終値）



出典: 大阪堂島商品取引所

注1: 商品先物取引とは、将来の一定期日に一定の商品を売買することを約束して、その価格を現時点で決める取引。

注2: 令和元年10月21日から令和3年1月29日までの価格の推移である。

注3: 東京コメは栃木・群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ・ふさこがね、新潟コシは新潟県産コシヒカリ、秋田こまちは秋田県産あきたこまち、宮城ひとめは宮城県産ひとめぼれを標準品とした取引価格。いずれも1等、消費税抜き、運賃及び包装代を含む。

注4: 期先限月とは、現物受渡や売買取引の期限が、その時点から最も先となる月。

注5: 令和2年4月21日から、「秋田こまち17(既存の秋田こまちは小口化)」と「宮城ひとめ18」が新商品として追加。「秋田こまち17」を秋田こまち、「宮城ひとめ18」を宮城ひとめとして記載。

注6: 秋田こまちは、令和2年4月20日までが「秋田こまち(既存の秋田こまち)」、令和2年4月21日以降が「秋田こまち17」の価格の推移。

## 4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和3年1月分)

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和3年1月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は対前回調査比▲3ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲3ポイント。
- 米価水準の現状判断は対前回調査比+1ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲3ポイント。

### 1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

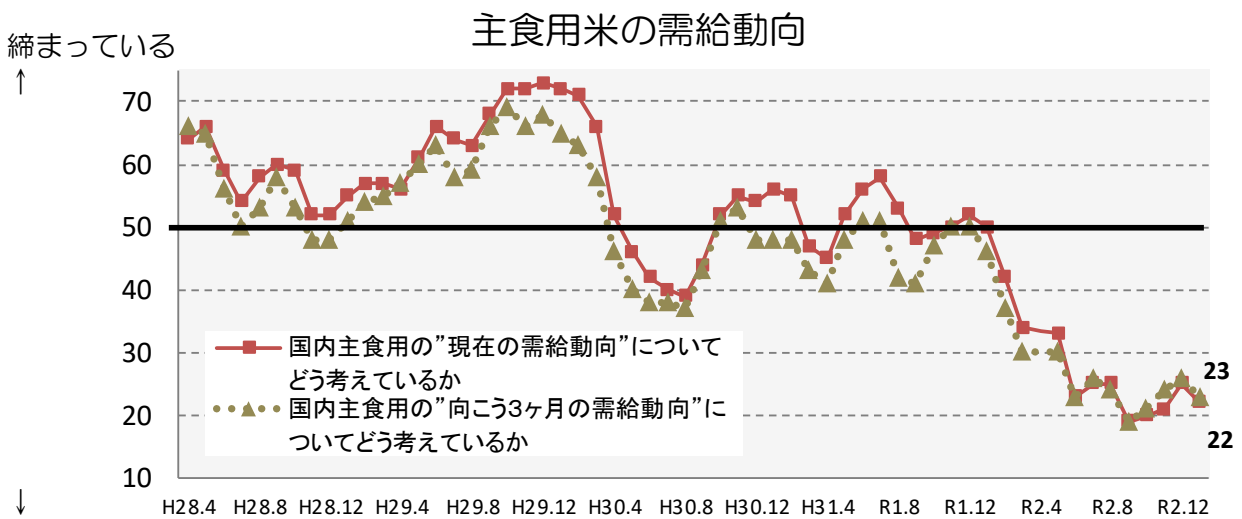
#### ① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I

前回からの増減 ▲3 (今月の数値 22)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前回からの増減 ▲3 (今月の数値 23)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

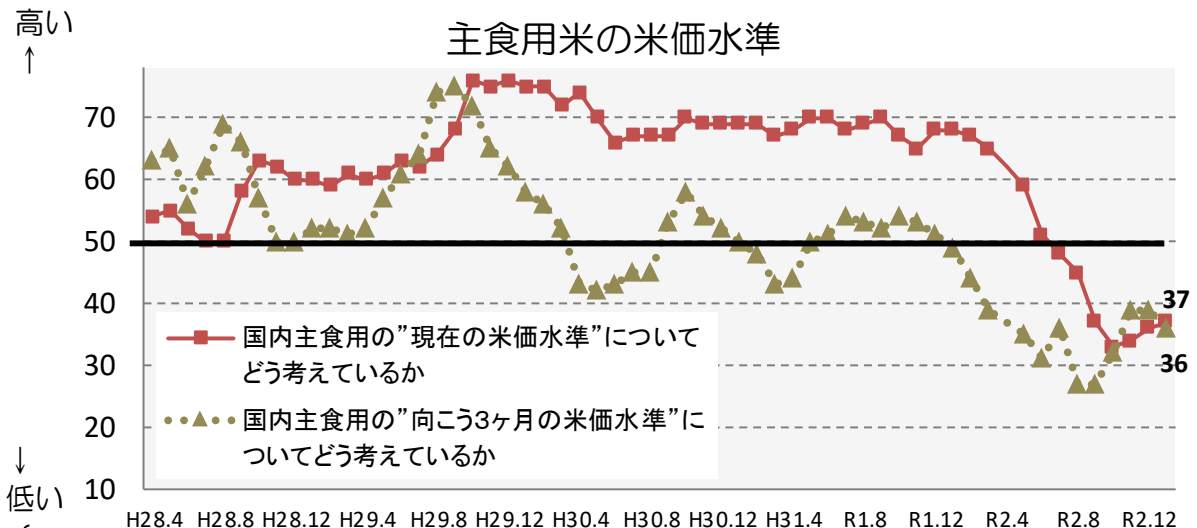
#### ② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断D I

前回からの増減 +1 (今月の数値 37)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前回からの増減 ▲3 (今月の数値 36)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

## 2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

### ①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

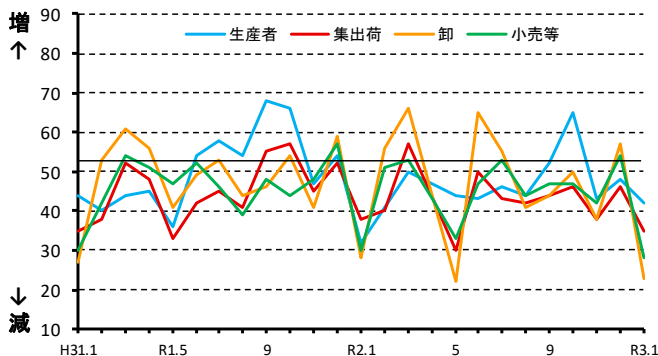
##### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲6	(今月の数値	42)
集出荷：前回からの増減	▲11	(今月の数値	35)
卸：前回からの増減	▲34	(今月の数値	23)
小売等：前回からの増減	▲28	(今月の数値	26)

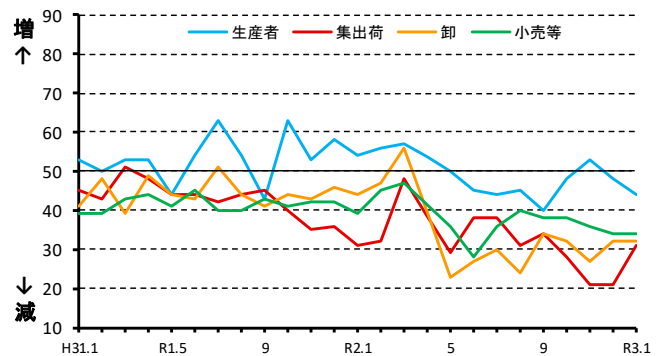
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲4	(今月の数値	44)
集出荷：前回からの増減	+10	(今月の数値	31)
卸：前回からの増減	±0	(今月の数値	32)
小売等：前回からの増減	±0	(今月の数値	34)

#### ①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"先月と比較"するといかがですか。



#### ①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



#### (イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

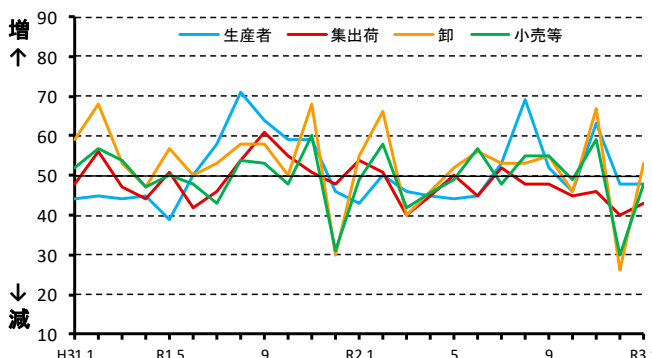
##### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	48)
集出荷：前回からの増減	+3	(今月の数値	43)
卸：前回からの増減	+27	(今月の数値	53)
小売等：前回からの増減	+18	(今月の数値	48)

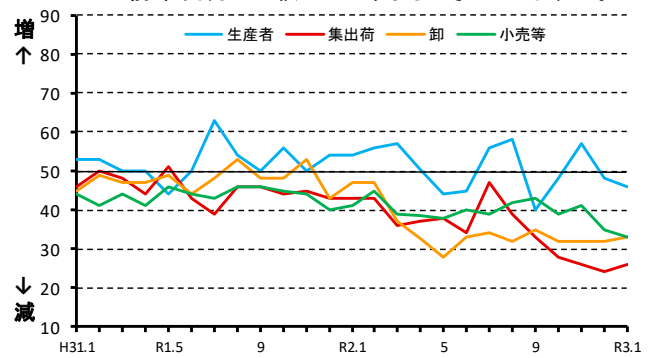
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲2	(今月の数値	46)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	26)
卸：前回からの増減	+1	(今月の数値	33)
小売等：前回からの増減	▲2	(今月の数値	33)

#### ①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



#### ①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



## ②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

### (ア) 今月の価格に関する現状判断D I

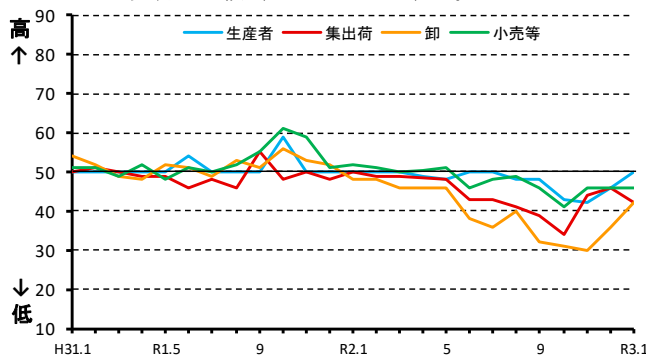
#### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+4	(今月の数値	50)
集出荷：前回からの増減	▲4	(今月の数値	42)
卸：前回からの増減	+6	(今月の数値	42)
小売等：前回からの増減	±0	(今月の数値	46)

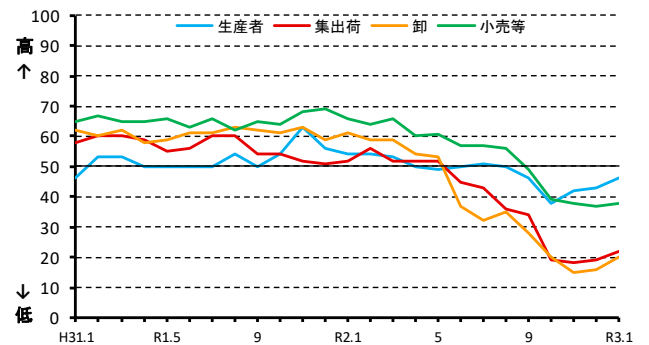
#### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+3	(今月の数値	46)
集出荷：前回からの増減	+3	(今月の数値	22)
卸：前回からの増減	+4	(今月の数値	20)
小売等：前回からの増減	+1	(今月の数値	38)

#### ②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



#### ②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



### (イ) 来月の価格に関する見通しD I

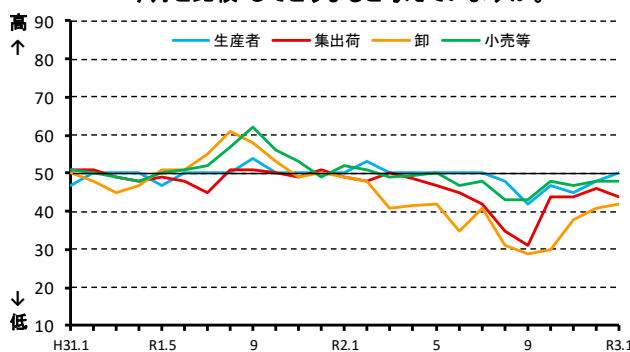
#### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+2	(今月の数値	50)
集出荷：前回からの増減	▲2	(今月の数値	44)
卸：前回からの増減	+1	(今月の数値	42)
小売等：前回からの増減	±0	(今月の数値	48)

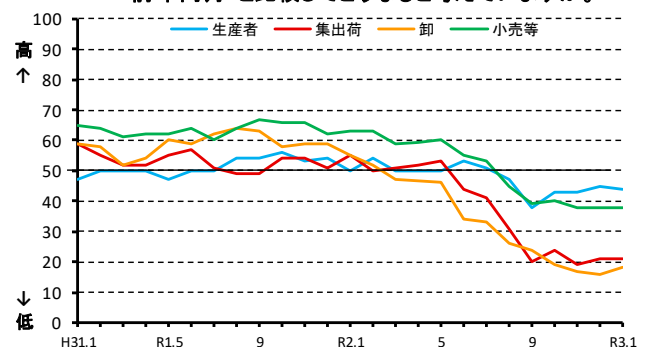
#### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲1	(今月の数値	44)
集出荷：前回からの増減	±0	(今月の数値	21)
卸：前回からの増減	+2	(今月の数値	18)
小売等：前回からの増減	±0	(今月の数値	38)

#### ②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



#### ②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



### ③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

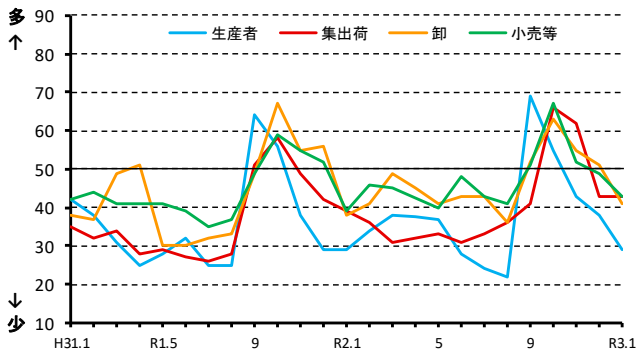
##### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲9	(今月の数値	29)
集出荷：前回からの増減	±0	(今月の数値	43)
卸：前回からの増減	▲10	(今月の数値	41)
小売等：前回からの増減	▲6	(今月の数値	43)

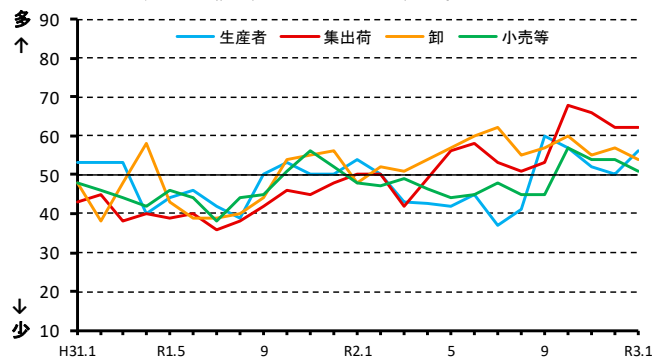
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+6	(今月の数値	56)
集出荷：前回からの増減	±0	(今月の数値	62)
卸：前回からの増減	▲3	(今月の数値	54)
小売等：前回からの増減	▲3	(今月の数値	51)

#### ③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、"先月と比較"するといかがですか。



#### ③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年同月と比較"するといかがですか。



#### (イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

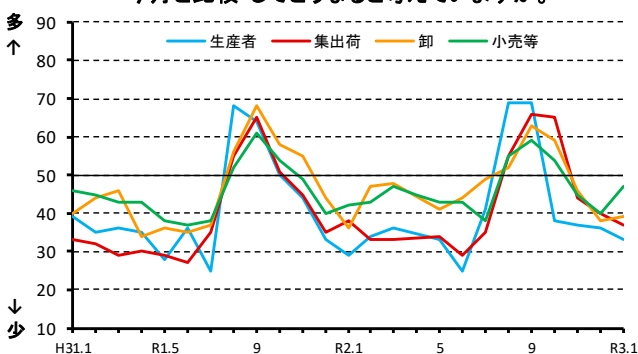
##### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲3	(今月の数値	33)
集出荷：前回からの増減	▲3	(今月の数値	37)
卸：前回からの増減	+1	(今月の数値	39)
小売等：前回からの増減	+7	(今月の数値	47)

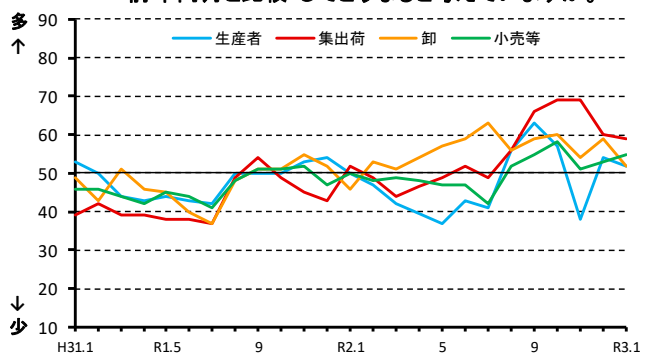
##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲2	(今月の数値	52)
集出荷：前回からの増減	▲1	(今月の数値	59)
卸：前回からの増減	▲7	(今月の数値	52)
小売等：前回からの増減	+2	(今月の数値	55)

#### ③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



#### ③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H31.1	12%	14%	4%	55%	12%	4%	0%
H31.2	7%	19%	2%	56%	10%	5%	1%
H31.3	5%	15%	4%	56%	17%	4%	0%
H31.4	5%	14%	4%	56%	17%	4%	0%
R1.5	4%	21%	4%	55%	13%	3%	0%
R1.6	4%	21%	5%	59%	7%	3%	1%
R1.7	15%	12%	4%	55%	7%	5%	1%
R1.8	18%	14%	8%	48%	8%	4%	1%
R1.9	24%	13%	4%	49%	6%	2%	2%
R1.10	22%	13%	3%	49%	8%	2%	2%
R1.11	19%	11%	3%	52%	13%	1%	1%
R1.12	14%	12%	3%	58%	9%	3%	1%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R2.1	7%	11%	2%	57%	18%	5%	0%
R2.2	3%	16%	4%	51%	19%	4%	2%
R2.3	2%	21%	2%	39%	28%	3%	5%
R2.4	-	-	-	-	-	-	-
R2.5	3%	18%	1%	38%	33%	3%	5%
R2.6	3%	27%	2%	35%	26%	6%	2%
R2.7	4%	32%	2%	34%	18%	5%	5%
R2.8	5%	39%	1%	34%	9%	7%	4%
R2.9	4%	40%	1%	38%	9%	7%	1%
R2.10	9%	37%	1%	39%	10%	4%	1%
R2.11	5%	34%	2%	42%	10%	6%	1%
R2.12	4%	32%	4%	35%	19%	5%	1%
R3.1	2%	30%	4%	41%	18%	3%	2%

《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の165客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、5月からアンケート対象事業者の拡充及び入替を行っております。

○有効回答数：134客体

生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

集出荷業者／団体・・・・・・・・・・26

卸売業者（主に主食用米）・・・・31

小売業者／中食・外食業者・・・・47

その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				



# IV 消費の動向

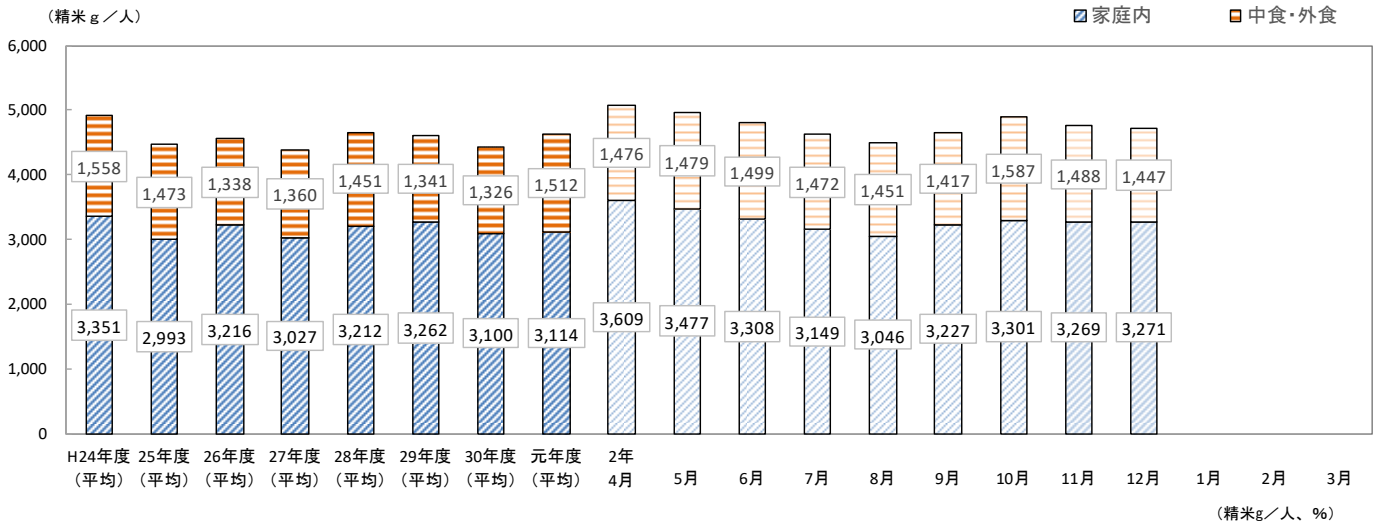
## 1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。  
 【 <https://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和2年12月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月比+4.0%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月比+7.6%、中食・外食では▲3.3%。

### （1）1人1ヵ月当たり精米消費量



	精米消費量(g)					内訳比率(%)				前年同月比(%)					
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
		家庭内	中食	外食	家庭内		中食	外食	家庭内	中食		外食			
平成24年度	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲3.7	▲5.9	1.6	4.6	▲2.2
28年度	4,663	3,212	1,451	852	599	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	6.3	6.1	6.7	7.4	5.6
29年度	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
令和2年 4月	5,085	3,609	1,476	1,095	382	100.0	71.0	29.0	21.5	7.5	3.3	11.6	▲12.7	11.8	▲46.2
令和2年 5月	4,956	3,477	1,479	1,032	447	100.0	70.2	29.8	20.8	9.0	2.2	8.3	▲9.8	6.6	▲33.5
令和2年 6月	4,807	3,308	1,499	969	531	100.0	68.8	31.2	20.2	11.0	4.2	5.9	0.5	11.9	▲14.9
令和2年 7月	4,620	3,149	1,472	950	521	100.0	68.2	31.9	20.6	11.3	2.7	2.9	2.4	13.8	▲13.6
令和2年 8月	4,496	3,046	1,451	935	515	100.0	67.7	32.3	20.8	11.5	6.5	9.5	0.7	13.7	▲16.8
令和2年 9月	4,643	3,227	1,417	871	545	100.0	69.5	30.5	18.8	11.7	7.9	13.5	▲3.0	3.4	▲12.1
令和2年 10月	4,888	3,301	1,587	992	595	100.0	67.5	32.5	20.3	12.2	0.0	0.5	▲0.9	3.3	▲7.2
令和2年 11月	4,757	3,269	1,488	943	544	100.0	68.7	31.3	19.8	11.4	▲1.6	▲0.8	▲3.3	1.6	▲10.8
令和2年 12月	4,718	3,271	1,447	955	492	100.0	69.3	30.7	20.2	10.4	4.0	7.6	▲3.3	11.6	▲23.1

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和2年12月分の有効調査世帯数は1,877世帯。

注2：平成24～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- 精米購入経路別の購入単価は、「デパート」が最も高く、次いで、「インターネットショップ」、「米穀専門店」の順となっている※。  
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- 令和2年12月の家庭内の月末在庫数量は、6.7kgとなっている。

## ② 精米購入時の動向

### (ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成25年度	0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6
平成26年度	1.2	48.7	4.1	2.4	0.2	8.2	1.5	3.5	2.0	6.7	8.7	19.5	2.6
平成27年度	1.8	48.1	3.7	2.5	0.2	7.8	1.0	3.7	1.5	5.2	9.7	20.3	2.6
平成28年度	1.5	49.7	3.7	2.8	0.5	8.1	1.5	2.7	1.8	6.2	9.6	17.2	3.2
平成29年度	1.4	49.4	4.3	3.1	0.3	6.9	1.6	2.8	2.0	7.1	10.0	16.2	2.5
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4
令和2年													
4月	0.5	52.5	5.2	4.1	0.1	6.3	1.5	2.4	0.9	4.3	10.0	13.3	5.2
5月	1.3	51.0	5.5	4.4	0.3	6.8	1.0	2.7	1.0	4.4	10.3	13.5	4.4
6月	0.9	48.8	6.6	5.3	0.0	5.9	1.2	2.3	1.4	5.0	9.5	14.0	3.8
7月	1.3	54.6	4.7	4.1	0.3	6.6	1.3	2.0	0.9	5.2	8.2	12.3	4.1
8月	1.8	50.2	5.9	4.3	0.1	7.9	1.4	2.0	1.0	4.9	8.4	15.1	3.2
9月	2.7	50.4	4.3	4.3	0.2	8.1	1.0	2.3	1.7	5.3	10.2	15.9	3.2
10月	0.7	47.1	5.0	3.3	0.5	7.9	0.9	2.8	1.0	5.7	9.5	19.4	3.8
11月	0.6	48.0	5.6	3.3	0.2	6.2	1.1	2.2	0.9	4.9	9.8	17.9	5.1
12月	1.9	48.8	5.2	3.1	0.6	7.8	1.0	2.6	1.4	4.4	9.9	17.5	4.3

注：1 平成25～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 令和2年12月分の有効調査世帯数は1,200世帯。

### (イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	-
令和2年4月	※422	383	409	387	※506	445	385	456	※427	387	514	2,321
5月	521	413	360	341	※489	448	370	431	376	346	485	2,164
6月	※473	398	353	364	※1,500	475	420	447	401	353	486	2,049
7月	430	408	356	313	※312	419	435	552	※453	390	498	1,953
8月	501	396	380	386	※430	437	404	499	375	414	498	1,885
9月	517	395	396	381	※455	487	439	462	523	386	465	1,810
10月	※484	396	382	330	※460	403	※387	479	436	313	519	2,062
11月	※578	396	383	324	※453	426	399	477	※433	355	441	1,940
12月	598	408	395	326	※497	410	389	461	380	338	528	1,877

注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。

2 購入単価は消費税を除く本体価格である。

3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。

4 令和元年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6	6.9	3.0
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
27年度	月末在庫数量	6.0	6.2	6.2	6.3	6.4	6.6	6.9	7.1	7.3	7.1	6.8	6.6	6.6	▲4.3
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.40	-
28年度	月末在庫数量	6.5	6.4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	7.0	7.7	7.5	6.7	6.6	6.7	1.5
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7				6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33				2.33	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が平成26～28年度はH22国勢調査、平成29～令和元年度はH27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

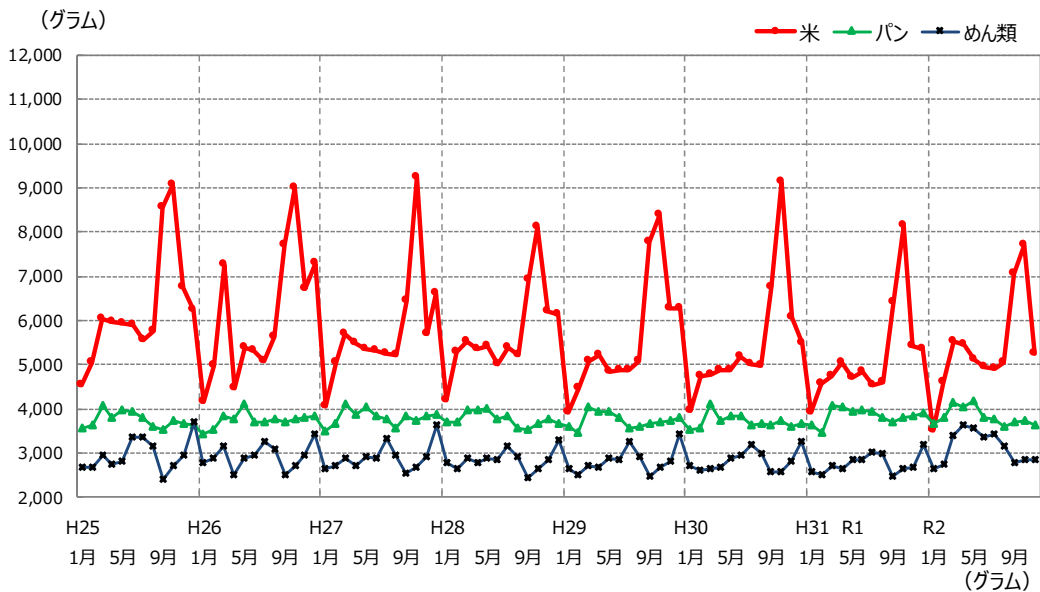
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

## 2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和2年11月の米の購入数量は、対前年同月比▲3.1%の5.3kg、パンは▲5.5%の3.6kg、めん類は+6.8%の2.8kg。

### 1 世帯当たり 1 か月間の購入数量の推移



	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
28年	68,740	98.9%	45,099	98.7%	34,192	98.4%
29年	67,270	97.9%	44,840	99.4%	33,934	99.2%
30年	65,750	97.7%	44,526	99.3%	33,867	99.8%
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
10月	8,160	89.3%	3,806	102.3%	2,642	102.2%
11月	5,420	89.3%	3,830	106.3%	2,662	95.1%
12月	5,350	97.4%	3,892	106.5%	3,201	98.5%
令和2年 1月	3,520	90.0%	3,652	100.7%	2,629	102.0%
2月	4,600	100.9%	3,789	109.7%	2,751	109.5%
3月	5,540	116.9%	4,157	102.2%	3,382	124.3%
4月	5,440	108.2%	4,037	100.2%	3,637	138.0%
5月	5,110	108.5%	4,177	105.7%	3,578	124.9%
6月	4,940	102.1%	3,812	96.0%	3,351	117.7%
7月	4,900	107.9%	3,760	95.2%	3,416	113.7%
8月	5,060	110.2%	3,615	95.3%	3,167	106.2%
9月	7,040	109.7%	3,690	99.9%	2,786	112.6%
10月	7,710	94.5%	3,722	97.8%	2,840	107.5%
11月	5,250	96.9%	3,618	94.5%	2,843	106.8%

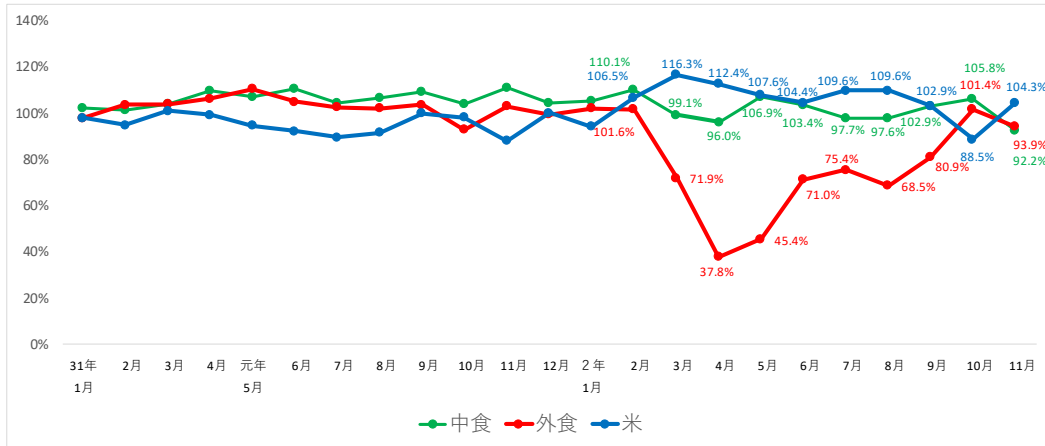
資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：平成25～令和元年は年間の購入数量・対前年比、令和2年は月間の購入数量・対前年同月比である。

注2：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和2年11月の中食の支出金額は、対前年同月比+4.3%、外食は▲7.8%。

### 1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



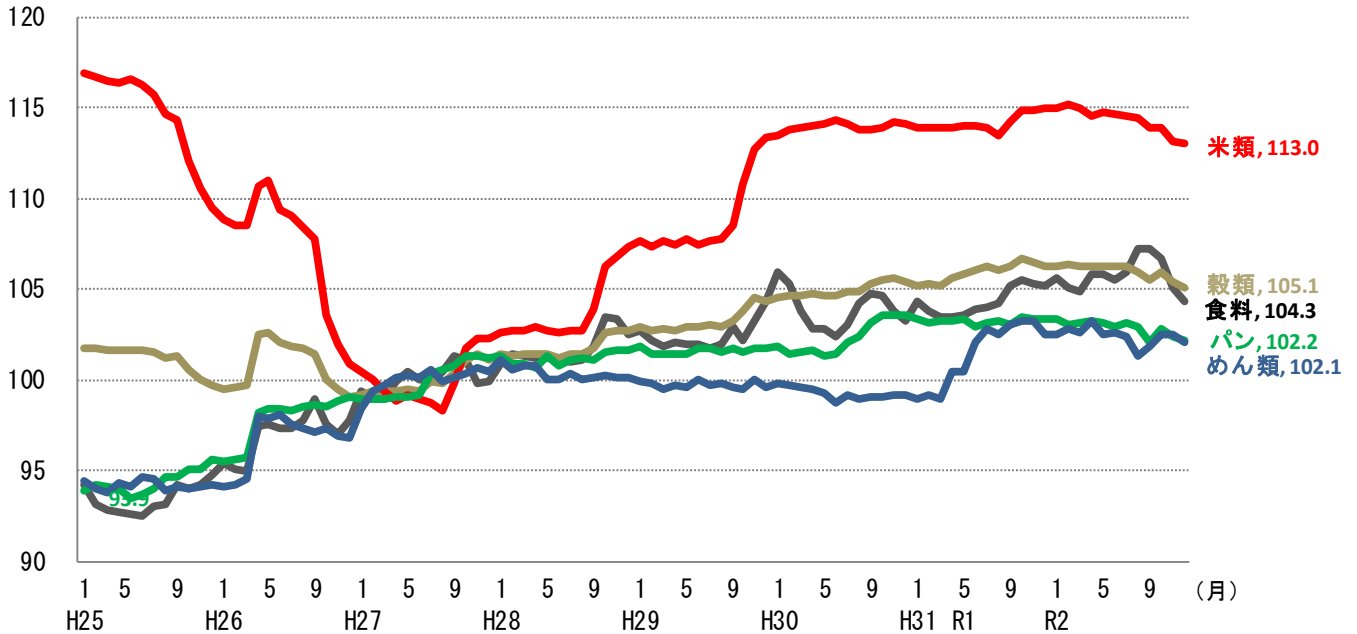
	穀類	中食				弁当	すし(弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品	
		米	パン	麺類	他の穀類						
31年1月	99.8	97.7	102.7	97.4	97.9	101.8	100.2	103.6	99.4	97.9	103.8
2月	101.2	94.6	106.9	99.8	99.7	101.1	101.0	97.9	108.8	97.8	104.4
3月	104.4	100.9	105.7	106.2	105.6	103.8	102.2	103.3	106.9	102.1	105.9
4月	104.0	99.2	109.1	101.1	105.0	109.4	112.6	107.1	109.7	101.5	111.4
元年5月	101.5	94.3	106.3	103.0	99.4	106.8	109.2	102.1	111.1	103.4	108.9
6月	99.8	92.0	105.8	98.5	106.5	110.3	111.9	106.8	109.7	105.0	114.5
7月	100.4	89.4	111.1	97.3	101.2	104.4	106.2	102.6	107.3	105.6	102.6
8月	101.0	91.5	108.1	102.5	96.2	106.5	104.1	108.4	107.0	104.7	107.8
9月	99.7	99.7	101.1	98.0	97.6	108.8	109.9	109.5	111.3	106.0	107.5
10月	102.5	98.0	102.2	111.6	109.0	103.8	97.4	105.4	105.7	108.8	107.1
11月	98.5	87.8	103.8	105.0	102.3	110.6	104.4	111.8	113.6	113.1	114.6
12月	101.3	99.9	101.0	104.7	100.0	104.1	103.8	102.8	109.5	105.3	104.0
2年1月	98.8	94.1	99.3	102.9	100.2	104.9	102.0	105.9	116.7	102.6	104.2
2月	107.0	106.5	102.9	114.1	113.8	110.1	113.0	106.8	112.4	107.3	111.7
3月	110.6	116.3	96.5	127.6	124.8	99.1	90.1	100.8	87.7	94.4	113.9
4月	111.5	112.4	93.7	138.0	143.4	96.0	94.2	93.7	76.3	83.7	112.5
5月	110.4	107.6	98.9	127.9	140.8	106.9	116.5	106.4	82.0	94.3	111.2
6月	104.2	104.4	96.1	116.3	110.4	103.4	104.1	106.6	90.4	96.7	107.1
7月	103.9	109.6	96.4	110.0	104.1	97.7	97.6	101.4	86.6	93.7	100.4
8月	104.5	109.6	95.1	111.5	119.2	97.6	99.4	96.2	89.2	95.3	101.1
9月	104.0	102.9	98.7	115.9	103.0	102.9	98.5	106.4	95.5	101.3	107.9
10月	96.3	88.5	99.4	104.9	102.3	105.8	110.5	103.9	102.2	101.8	105.2
11月	100.2	93.9	97.9	111.8	107.0	104.3	106.9	103.9	95.4	100.2	106.3

	外食	外食									
		日本そば・うどん	中華そば	他の麺類外食	すし(外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食的外食
31年1月	97.8	99.4	114.3	114.7	97.6	96.2	100.4	89.6	89.2	106.0	98.2
2月	103.4	109.6	109.1	116.7	87.1	98.2	98.5	83.1	100.8	112.1	114.8
3月	103.6	110.0	113.3	104.9	88.1	99.5	105.9	88.9	96.5	130.8	110.7
4月	106.1	103.5	108.6	122.0	103.4	101.5	93.0	99.9	109.3	123.0	109.3
元年5月	110.2	118.4	110.4	128.4	100.2	113.9	90.0	98.3	123.0	112.9	113.1
6月	104.8	112.0	110.9	112.9	101.7	105.1	106.6	95.9	93.4	121.6	105.9
7月	102.4	103.3	112.4	125.8	96.9	106.7	106.9	93.6	84.8	106.2	103.7
8月	101.8	108.0	110.1	123.5	101.6	96.8	92.0	93.3	95.9	102.3	105.3
9月	103.3	119.0	109.8	121.6	117.9	96.8	85.0	92.4	101.3	115.0	103.2
10月	92.8	91.4	103.7	94.3	96.1	95.6	98.0	80.5	65.2	114.3	94.1
11月	102.7	102.3	120.0	120.8	98.6	100.2	101.4	95.0	106.8	109.8	103.3
12月	99.2	101.4	93.9	105.6	97.2	96.1	119.2	87.9	112.5	96.2	101.3
2年1月	101.9	112.3	99.5	88.1	96.7	100.6	99.8	93.2	111.4	102.3	105.5
2月	101.6	107.3	103.3	104.6	103.0	102.1	103.1	104.1	121.1	110.8	96.2
3月	71.9	74.6	77.0	68.7	79.3	75.0	66.5	62.1	77.3	97.5	67.8
4月	37.8	29.4	38.5	26.3	41.4	37.3	43.0	26.3	24.0	121.0	35.9
5月	45.4	34.0	48.8	36.2	60.6	45.8	60.2	37.3	35.8	141.4	38.2
6月	71.0	68.9	75.2	60.7	85.5	72.8	85.9	67.7	89.4	97.5	62.1
7月	75.4	79.0	80.6	59.4	79.8	83.7	69.8	65.0	85.4	101.3	70.0
8月	68.5	64.9	71.7	56.7	76.3	71.6	79.3	66.8	72.3	111.2	61.1
9月	80.9	79.4	84.0	73.2	90.4	92.2	105.5	75.5	97.4	108.9	68.6
10月	101.4	92.0	98.9	85.8	114.7	105.3	110.2	114.2	138.8	117.1	90.9
11月	92.2	93.8	76.3	88.4	113.0	93.5	80.2	92.7	111.5	117.6	85.1

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯  
注1：米は精米ベースである。

### 3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数によると、令和2年12月の米類の指数は対前年同月比 ▲1.7%の113.0ポイント。



(平成27年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成25年(平均)	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
26年(平均)	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
27年(平均)	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
28年(平均)	101.7	1.7%	101.7	1.7%	103.8	3.8%	104.0	4.0%	101.2	1.2%	100.3	0.3%
29年(平均)	102.4	0.7%	103.2	1.5%	108.8	4.8%	109.2	5.1%	101.6	0.4%	99.7	▲0.6%
30年(平均)	103.9	1.4%	104.9	1.7%	114.0	4.7%	114.6	5.0%	102.3	0.7%	99.3	▲0.5%
令和元年(平均)	104.3	0.5%	105.9	0.9%	114.2	0.2%	114.9	0.2%	103.2	0.9%	101.4	2.2%
令和2年 1月	105.6	1.2%	106.2	1.0%	114.9	0.8%	115.6	0.8%	103.3	0.0%	102.5	3.6%
2月	105.1	1.2%	106.4	1.1%	115.2	1.1%	115.8	1.0%	103.0	▲0.1%	102.8	3.6%
3月	104.9	1.4%	106.3	1.0%	114.9	0.9%	115.6	0.9%	103.1	▲0.1%	102.6	3.7%
4月	105.8	2.1%	106.3	0.7%	114.5	0.5%	115.0	0.4%	103.2	0.0%	103.2	2.8%
5月	105.8	2.1%	106.3	0.5%	114.7	0.6%	115.3	0.5%	103.1	▲0.1%	102.5	2.0%
6月	105.5	1.5%	106.2	0.2%	114.6	0.5%	115.2	0.4%	102.9	▲0.1%	102.6	0.5%
7月	105.9	1.8%	106.3	0.1%	114.5	0.5%	115.0	0.4%	103.1	0.0%	102.4	▲0.4%
8月	107.2	2.9%	105.9	▲0.1%	114.4	0.8%	115.0	0.6%	102.9	▲0.3%	101.3	▲1.2%
9月	107.2	1.9%	105.5	▲0.8%	113.9	▲0.3%	114.5	▲0.3%	102.1	▲0.9%	101.8	▲1.2%
10月	106.7	1.1%	105.9	▲0.7%	113.9	▲0.8%	114.4	▲1.0%	102.8	▲0.7%	102.5	▲0.7%
11月	105.1	▲0.2%	105.4	▲1.0%	113.1	▲1.5%	113.6	▲1.6%	102.4	▲1.0%	102.5	▲0.7%
12月	104.3	▲0.9%	105.1	▲1.0%	113.0	▲1.7%	113.6	▲1.9%	102.2	▲1.1%	102.1	▲0.4%

資料：総務省「消費者物価指数」平成27年基準、品目別価格指数（全国）

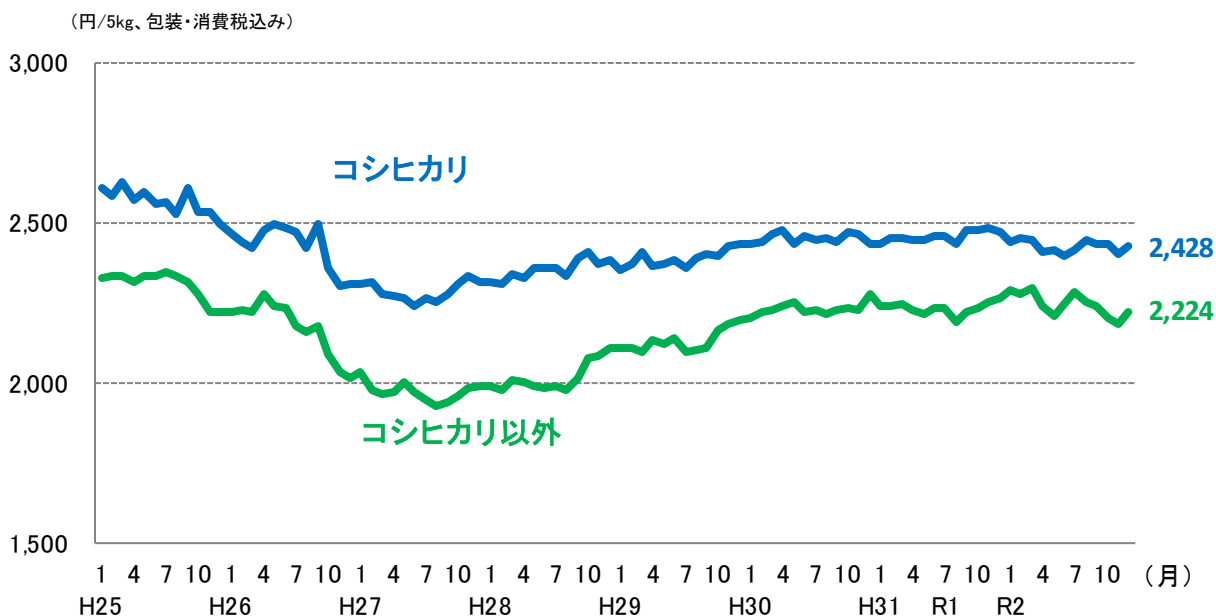
注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

注2：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

注3：平成25年～令和元年のデータは年平均、令和2年は月次データである。

## 4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和2年12月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比▲1.8%の2,428円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比▲1.9%の2,224円。



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
コシヒカリ	2,567	2,428	2,285	2,355	2,388	2,451	2,457
前年比	▲0.4%	▲5.4%	▲5.9%	3.1%	1.4%	2.6%	0.2%
コシヒカリ以外	2,307	2,173	1,973	2,019	2,132	2,232	2,234
前年比	3.8%	▲5.8%	▲9.2%	2.3%	5.6%	4.7%	0.1%

月次(令和2年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,439	2,455	2,443	2,407	2,416	2,395	2,417	2,448	2,431	2,434	2,405	2,428
前年同月比	0.2%	0.1%	▲0.3%	▲1.5%	▲1.1%	▲2.6%	▲1.7%	0.7%	▲1.8%	▲1.6%	▲3.1%	▲1.8%
コシヒカリ以外	2,288	2,279	2,295	2,241	2,210	2,249	2,284	2,255	2,241	2,205	2,184	2,224
前年同月比	2.1%	1.7%	2.3%	0.5%	▲0.3%	0.7%	2.3%	2.9%	0.8%	▲1.3%	▲3.0%	▲1.9%

月次(令和元年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,434	2,453	2,451	2,443	2,444	2,460	2,458	2,431	2,475	2,474	2,483	2,472
前年同月比	0.0%	0.6%	▲0.6%	▲1.3%	0.5%	0.0%	0.6%	▲0.9%	1.6%	0.0%	0.7%	1.6%
コシヒカリ以外	2,241	2,242	2,244	2,229	2,216	2,233	2,233	2,191	2,223	2,233	2,252	2,267
前年同月比	1.7%	0.9%	0.7%	▲0.5%	▲1.7%	0.5%	0.2%	▲1.2%	▲0.3%	▲0.1%	1.0%	▲0.4%

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

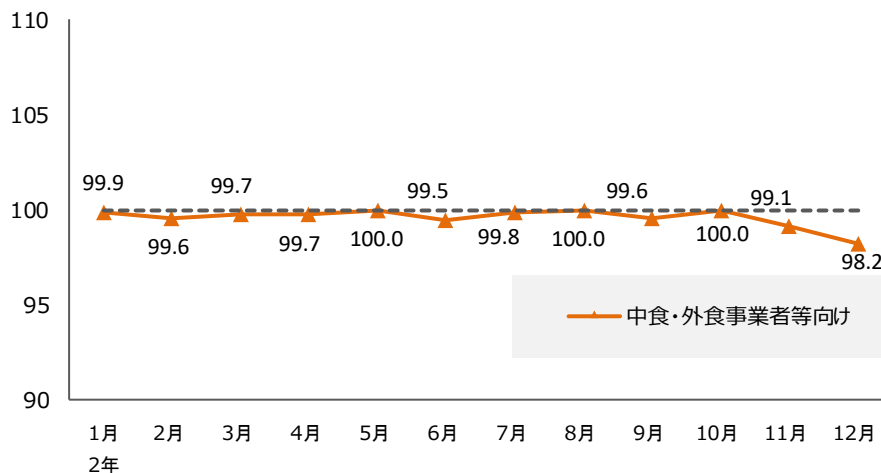
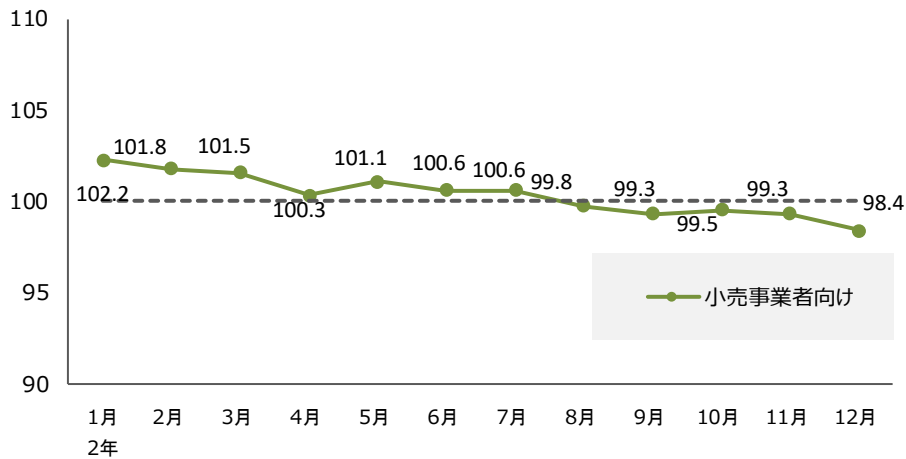
## 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

- 令和2年12月の販売数量(前年同月比)は、小売事業者向け108%、中食・外食事業者等向け92%で販売数量は100%となり、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛要請等により家庭用の需要が一時的に高まったが、全体として見れば、昨年から米の需要は停滞している。特に4、5月では、外食向けを中心に業務用の需要の減少が大きい。
- 前年同月を基準にした令和2年12月の販売価格の値動きは、小売事業者向け98.4、中食・外食事業者等向け98.2。

### 1 販売数量の動向 (前年同月比)

	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	101%	110%	124%	110%	95%	104%	103%	105%	102%	103%	101%	108%
中食・外食事業者等向け	98%	99%	88%	75%	76%	89%	86%	85%	89%	92%	92%	92%
販売数量計	100%	105%	108%	94%	86%	97%	95%	95%	96%	98%	97%	100%

### 2 販売価格の動向 (前年同月の価格を基準にした値動き)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

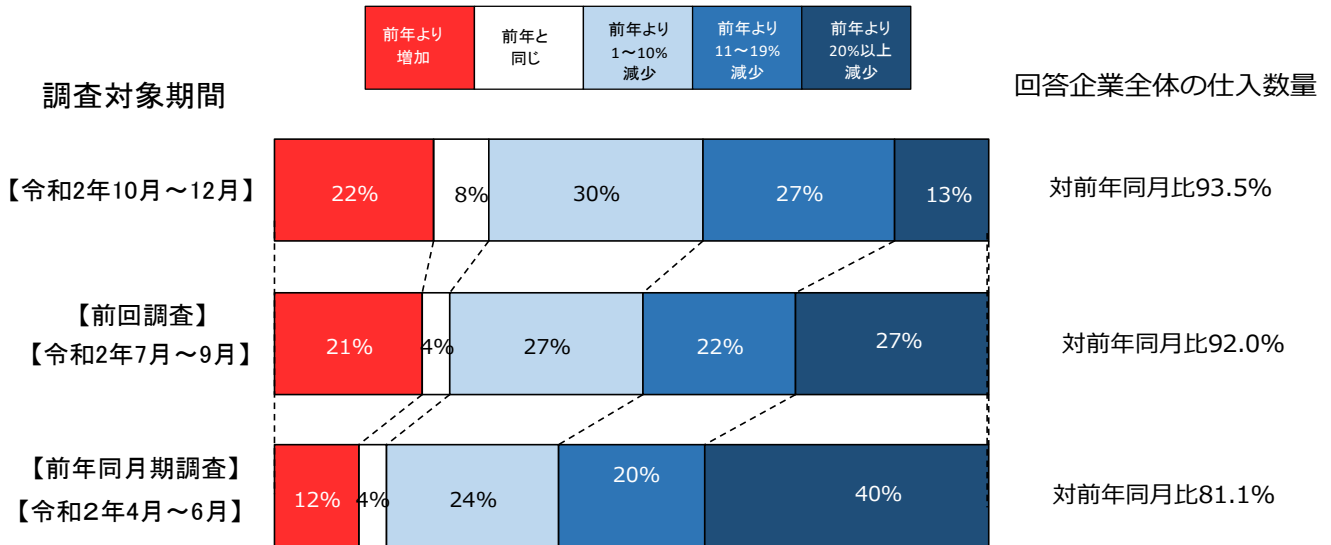
注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。



## 6 中食・外食事業者の米の仕入状況

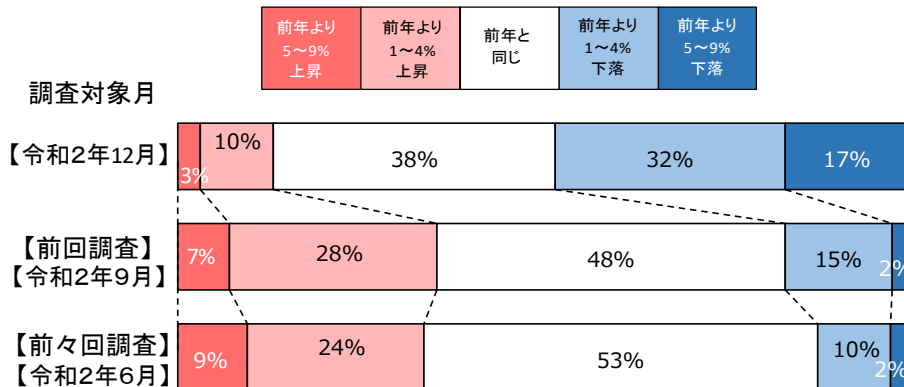
### 仕入数量の動向（令和2年10月～12月）（前年からの変動別企業数割合）

仕入数量の対前年同期の増減については、仕入数量が「前年同期より増加」と回答した企業の割合は2割、「前年より1割以上減少」と回答した企業の割合は4割。回答企業全体の仕入数量は対前年同月比93.5%となっている。



### 仕入価格の動向（令和2年12月）（前年からの変動別企業数割合）

前年同月（元年12月）の仕入価格と比べて、下落と回答した事業者は5割となっている。



注 本調査項目では仕入れた米の年産については調査していないため、必ずしも2年産米の仕入価格を表したものではありません。

<参考：米の相対取引価格（年産平均）>

●元年産：15,720円（対前年比100%） ●2年産：15,001円（対前年比95%）

<当データを利用する上での留意事項>

▶ 日本惣菜協会、日本べんとう振興協会、日本炊飯協会、日本弁当サービス協会、日本フードサービス協会の会員企業（合計354社）にご協力を頂き、令和2年10月から12月までの期間の米の仕入状況に関するアンケート調査を実施いたしました。

回答がありました130社の企業形態別の内訳は、中食事業者（41社）、外食事業者（11社）、中食・外食事業者に米飯等を提供する事業者（66社）、その他（12社）。

▶ ご協力いただいた企業は東京、大阪圏が多いため、今回取りまとめたデータは必ずしも全国の趨勢を示したものではありません。

## 7 小売価格の推移 (POSデータ)

### うるち精米の主な銘柄の月別価格・販売数量

単位:円/5kg袋販売時換算(消費税込み)、トン

	販 売 価 格												販売数量				
	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月差	前年同月差	2年12月	2年1月~2年12月
北海道 ななつぼし	1,998	1,995	2,009	2,025	2,038	2,051	1,968	1,946	1,974	1,928	1,979	1,978	1,960	▲ 18	▲ 38	332	3,613
北海道 ゆめびりか	2,408	2,416	2,415	2,429	2,455	2,453	2,438	2,430	2,428	2,401	2,408	2,392	2,431	+ 38	+ 23	245	2,499
北海道 きらら397	1,952	1,911	1,958	1,968	1,922	1,929	1,935	1,917	1,916	1,898	1,866	1,908	2,009	+ 101	+ 57	22	536
北海道 ふっくりんこ	2,180	2,188	2,212	2,209	2,214	2,218	2,199	2,195	2,202	2,181	2,170	2,207	2,198	▲ 9	+ 18	39	479
青森 つがるロマン	1,926	1,934	1,912	1,920	1,870	1,906	1,910	1,914	1,895	1,893	1,851	1,842	1,900	+ 58	▲ 26	9	206
青森 まっしぐら	1,824	1,852	1,785	1,819	1,834	1,866	1,780	1,843	1,799	1,781	1,706	1,759	1,587	▲ 172	▲ 237	19	177
青森 青天の霹靂	2,291	2,302	2,324	2,334	2,327	2,315	2,277	2,321	2,292	2,240	2,214	2,261	2,287	+ 25	▲ 4	12	153
岩手 ひとめぼれ	1,990	1,969	1,982	2,011	2,003	1,968	1,985	1,960	1,890	1,863	1,905	1,907	1,917	+ 9	▲ 73	110	1,244
岩手 あきたこまち	1,866	1,827	1,824	1,852	1,859	1,839	1,858	1,832	1,826	1,901	1,886	1,823	1,822	▲ 1	▲ 44	9	228
岩手 銀河のしずく	2,009	2,015	1,981	2,087	2,078	2,030	2,072	2,040	2,030	2,016	2,013	2,024	2,003	▲ 21	▲ 6	13	167
宮城 ひとめぼれ	1,971	1,944	1,960	1,959	1,952	1,949	1,964	1,949	1,905	1,891	1,937	1,916	1,896	▲ 20	▲ 75	125	1,698
宮城 つや姫	2,088	2,052	2,064	2,082	2,078	2,068	2,059	2,059	1,962	1,973	1,874	1,915	1,889	▲ 25	▲ 199	24	308
秋田 あきたこまち	2,003	1,986	2,031	2,057	2,048	2,031	2,037	2,029	2,034	2,020	1,994	1,981	2,000	+ 19	▲ 3	165	2,271
秋田 ひとめぼれ	1,803	1,838	1,852	1,922	1,912	1,913	1,884	1,873	1,808	1,912	1,866	2,057	1,931	▲ 126	+ 128	11	317
山形 つや姫	2,459	2,482	2,529	2,445	2,550	2,499	2,521	2,547	2,554	2,450	2,457	2,407	2,433	+ 26	▲ 26	72	775
山形 はえぬき	1,917	1,910	1,943	2,002	2,002	2,002	1,989	1,925	1,875	1,906	1,875	1,846	1,812	▲ 34	▲ 105	26	366
山形 雪若丸	2,135	2,070	2,081	2,064	2,046	2,047	2,035	2,008	2,019	1,997	1,997	2,018	2,016	▲ 3	▲ 119	31	235
茨城 コシヒカリ	1,979	1,952	1,973	1,961	1,955	1,997	1,958	1,954	1,905	1,819	1,902	1,889	1,884	▲ 5	▲ 95	43	274
茨城 あきたこまち	1,900	1,877	1,881	1,929	1,970	1,948	1,877	1,853	1,872	1,866	1,793	1,845	1,854	+ 9	▲ 46	27	350
栃木 コシヒカリ	2,056	2,082	1,950	1,967	2,021	2,020	2,027	1,958	2,035	2,036	1,882	1,901	1,943	+ 43	▲ 113	22	299
栃木 なすひかり	1,919	1,858	1,959	1,963	1,945	1,920	1,951	1,975	1,856	1,862	1,795	1,786	1,790	+ 5	▲ 129	10	163
千葉 コシヒカリ	2,018	2,033	2,064	2,095	2,095	2,090	2,085	2,076	2,067	1,907	1,952	1,989	1,944	▲ 45	▲ 74	30	377
千葉 ふさこがね	1,791	1,754	1,768	1,809	1,815	1,781	1,758	1,749	1,748	1,764	1,704	1,749	1,764	+ 15	▲ 27	10	234
千葉 ふさおとめ	1,819	1,851	1,857	1,896	1,906	1,894	1,908	1,904	1,855	1,776	1,664	1,649	1,637	+ 12	▲ 182	70	532
新潟 コシヒカリ 一般	2,220	2,226	2,222	2,250	2,259	2,236	2,254	2,251	2,237	2,203	2,180	2,162	2,126	▲ 36	▲ 94	240	2,196
新潟 コシヒカリ 魚沼	2,698	2,750	2,825	2,835	2,828	2,803	2,802	2,831	2,756	2,727	2,656	2,665	2,580	▲ 84	▲ 118	58	484
新潟 コシヒカリ 佐渡	2,300	2,278	2,312	2,259	2,357	2,365	2,344	2,384	2,346	2,360	2,262	2,249	2,278	+ 29	▲ 22	15	174
新潟 こしいぶき	1,796	1,813	1,822	1,865	1,855	1,868	1,887	1,859	1,836	1,859	1,775	1,774	1,744	▲ 30	▲ 52	51	551
新潟 新之助	2,488	2,422	2,493	2,507	2,496	2,538	2,356	2,388	2,474	2,328	2,278	2,250	2,240	▲ 10	▲ 248	25	176
富山 コシヒカリ	2,075	2,098	2,135	2,139	2,171	2,111	2,117	2,116	2,091	2,055	2,063	2,093	2,104	+ 11	+ 29	89	1,183
石川 コシヒカリ	2,101	2,047	2,073	2,115	2,085	2,111	2,104	2,070	2,119	2,101	2,080	2,035	2,106	+ 71	+ 5	69	848
石川 ゆめみづほ	1,941	1,908	2,065	2,081	1,891	2,029	1,756	1,932	1,965	1,834	1,787	1,737	1,846	+ 109	▲ 95	11	152
福井 コシヒカリ	2,111	2,085	2,017	2,218	2,104	2,101	2,139	2,019	2,099	2,041	1,998	2,017	2,080	+ 63	▲ 31	17	266
福井 ハナエチゼン	1,935	1,928	1,957	1,957	1,949	1,959	1,972	1,941	1,858	1,897	1,884	1,891	1,846	▲ 44	▲ 89	28	204
山梨 コシヒカリ	2,398	2,299	2,336	2,298	2,342	2,332	2,317	2,312	2,297	2,283	2,289	2,311	2,370	+ 59	▲ 28	19	223
長野 コシヒカリ	1,933	1,948	1,965	1,998	2,016	2,032	1,974	1,953	1,925	1,978	1,922	1,888	1,942	+ 54	+ 9	48	579
愛知 コシヒカリ	2,178	2,162	2,216	2,237	2,216	2,237	2,272	2,268	2,226	2,088	2,131	2,178	2,171	▲ 8	▲ 7	10	153
三重 コシヒカリ 一般	2,066	1,926	2,050	2,036	2,050	2,025	1,970	2,023	1,989	1,974	1,875	1,881	1,996	+ 114	▲ 70	34	506
三重 コシヒカリ 伊賀	2,194	2,165	2,175	2,168	2,189	2,200	2,215	2,248	2,213	2,087	2,089	2,118	2,095	▲ 23	▲ 99	21	253
島根 コシヒカリ	2,312	2,251	2,291	2,367	2,322	2,247	2,259	1,948	2,307	2,249	2,342	2,255	2,288	+ 33	▲ 24	7	91
岡山 コシヒカリ	2,032	2,003	2,042	2,065	2,080	2,081	2,068	2,081	2,067	2,049	2,045	2,043	2,035	▲ 8	+ 3	10	127
愛媛 コシヒカリ	2,109	2,072	2,108	2,107	2,118	2,117	2,110	2,108	2,111	2,110	2,097	2,091	2,113	+ 22	+ 4	11	150
福岡 元気つくし	2,193	2,190	2,297	2,262	2,246	2,241	2,257	2,215	2,240	2,226	2,217	2,171	2,177	+ 6	▲ 16	17	126
佐賀 さがびより	2,015	1,837	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,172	2,010	▲ 162	-	14	19
大分 ヒノヒカリ	1,912	1,897	1,896	1,934	2,004	2,004	2,010	1,984	2,010	1,941	1,968	1,969	2,011	+ 43	+ 99	10	163
宮崎 コシヒカリ	1,302	1,245	1,290	1,300	1,390	1,557	1,612	1,805	1,940	1,805	1,755	1,466	1,281	▲ 185	▲ 21	2	189
宮崎 ヒノヒカリ	1,825	1,823	1,839	1,831	1,879	1,923	1,940	1,923	1,966	1,922	1,822	1,818	1,832	+ 14	+ 7	21	236
全POS取引平均価格	2,079	2,054	2,065	2,080	2,082	2,078	2,070	2,061	2,048	2,012	2,013	2,021	2,036	+ 15	▲ 43		
全POS取引数量(t)	2,971	2,550	3,223	3,900	3,652	3,249	3,272	3,279	3,582	3,380	3,155	2,939	3,315	+ 376	+ 344	3,315	39,495

資料:(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1:(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

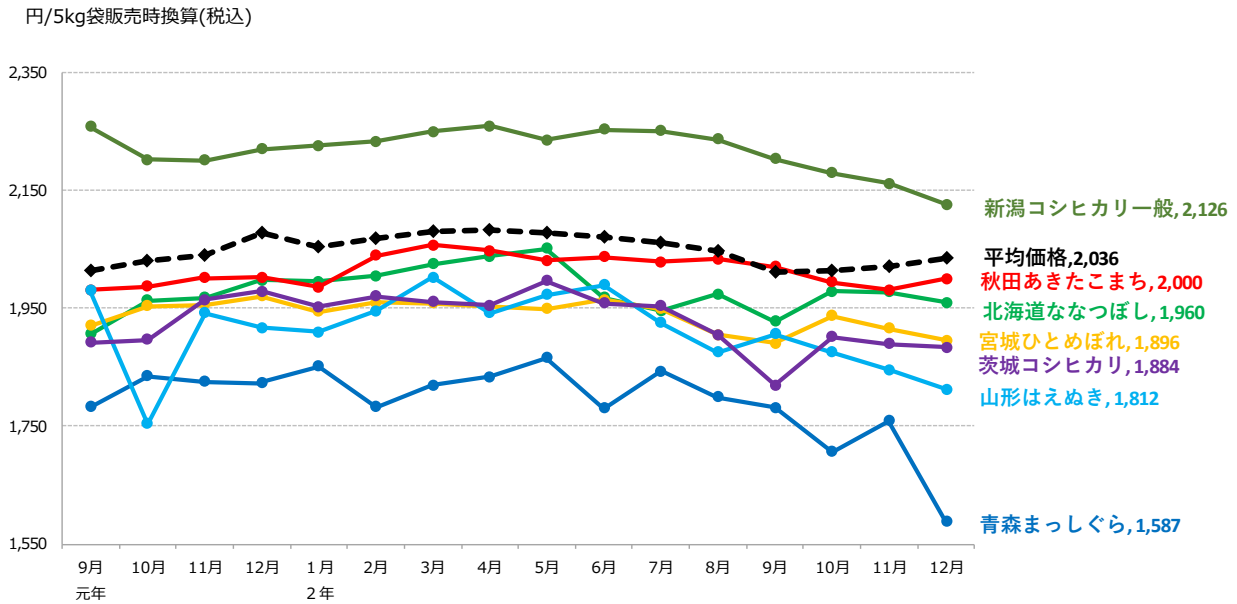
注2:POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3:POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4:全POS取引平均価格は、POSデータを把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注5:価格に含む消費税は8%である。

- 令和2年12月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月比+15円(+0.7%)、対前年同月比▲43円(▲2.1%)の2,036円。



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

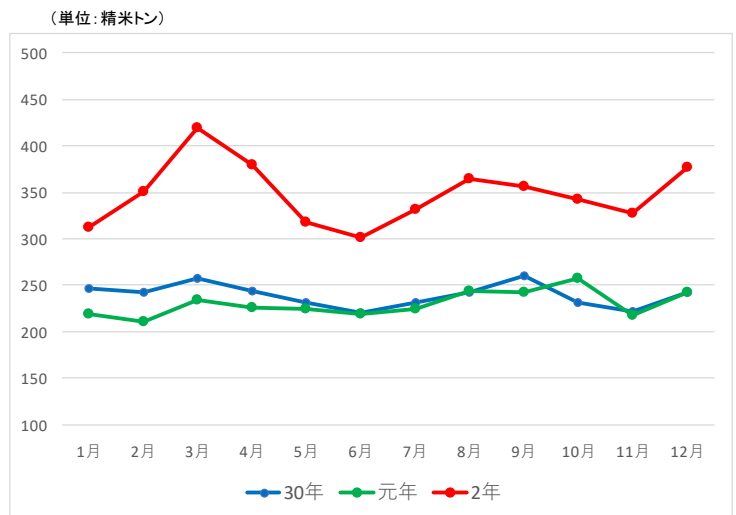
注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注5：価格に含む消費税は8%である。

## 【パックご飯の販売数量(精米換算)】

	30年	(単位:精米トン、%)		対前年 同月比 ②/①
		元年 ①	2年 ②	
1月	246	219	313	143%
2月	243	211	351	166%
3月	257	234	420	179%
4月	244	226	380	168%
5月	232	225	318	141%
6月	221	219	302	138%
7月	231	225	331	147%
8月	243	244	365	150%
9月	260	242	356	147%
10月	232	257	342	133%
11月	222	217	327	151%
12月	242	243	377	155%



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

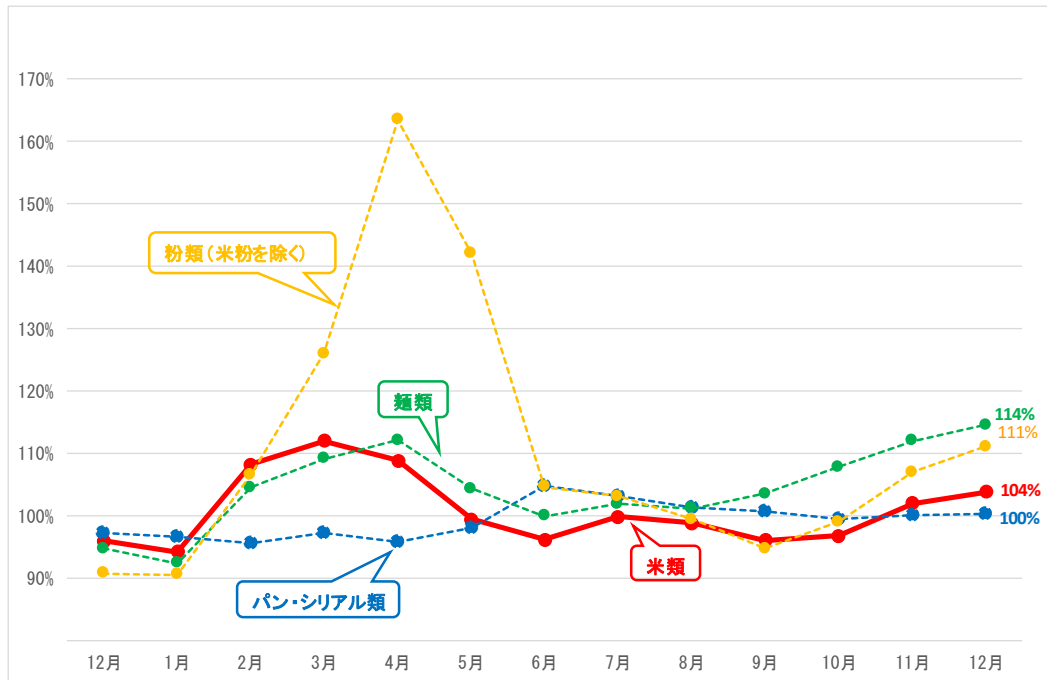
注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

## 【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】

新型コロナウイルスによる休校要請や外出自粛の要請を受け、米類の商品販売個数については、2月から4月の売上が大きく伸びた。

その後、4月下旬以降の販売個数は前年と同程度で推移している。



分類コード	分類名	主な分類基準	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
米類	米	精米、玄米、もち米	97%	97%	113%	113%	103%	96%	92%	96%	100%	90%	102%	101%	102%	
	包装餅	切り餅、板餅	95%	89%	106%	136%	165%	143%	113%	127%	113%	103%	107%	104%	105%	
	米飯加工品	無菌パックの白飯、レトルトタイプ、おかゆ、赤飯	100%	94%	113%	118%	115%	96%	94%	100%	102%	101%	93%	103%	84%	
	冷凍米飯加工品	チャーハン、ピラフ、焼きおにぎり	94%	95%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94%	95%	95%	100%	125%
	米類		96%	94%	108%	112%	109%	99%	96%	100%	99%	96%	100%	97%	102%	104%
パン・シリアル類	食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	97%	97%	97%	99%	93%	94%	103%	103%	100%	98%	99%	99%	101%	
	菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	97%	97%	94%	95%	97%	99%	105%	103%	102%	103%	100%	100%	100%	
	調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	99%	92%	100%	103%	104%	106%	111%	105%	101%	99%	99%	103%	99%	
	シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	103%	107%	83%	77%	73%	76%	88%	91%	122%	114%	105%	115%	110%	
	パン・シリアル類		97%	97%	96%	97%	96%	98%	105%	103%	101%	101%	99%	100%	100%	
麺類	インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	94%	90%	100%	122%	128%	110%	97%	112%	104%	103%	101%	105%	109%	
	カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	93%	90%	105%	105%	102%	93%	98%	103%	95%	105%	92%	102%	105%	
	生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば・焼きそば	96%	94%	105%	109%	120%	115%	103%	100%	106%	104%	103%	100%	103%	
	スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	95%	98%	121%	145%	161%	120%	96%	95%	102%	94%	94%	109%	108%	
	冷凍麺	冷凍パスタ、そば、うどんなどの麺類	98%	98%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	105%	102%	104%	101%	105%
粉類(米粉を除く)	小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	89%	89%	108%	122%	169%	146%	92%	93%	86%	94%	98%	106%		
	パン粉	パン粉、生パン粉	92%	90%	102%	109%	120%	114%	97%	99%	99%	93%	103%	103%	105%	
	プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	91%	92%	109%	141%	195%	164%	119%	116%	104%	103%	100%	115%	120%	
	粉類(米粉を除く)		91%	90%	107%	126%	163%	142%	105%	103%	99%	95%	99%	107%	111%	
(参考)	味噌	ルーツタイプの味噌、出し入り味噌	94%	94%	97%	101%	107%	103%	100%	100%	100%	91%	113%	110%	112%	
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	96%	92%	105%	108%	176%	212%	116%	115%	106%	87%	153%	111%	97%	
	米菓	煎餅、あられ、おかき	94%	94%	97%	101%	107%	103%	100%	100%	99%	101%	100%	114%	116%	
	清酒		93%	91%	99%	95%	97%	102%	97%	101%	99%	86%	112%	101%	103%	
	焼酎・焼酎類		92%	93%	100%	98%	102%	106%	99%	99%	99%	86%	113%	103%	100%	

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

# V 輸出入の動向

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

## 1 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：千玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	輸入方式別	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度 (1月末現在)	245	222	42	-	5	514	474	40

資料：農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1~0.2千トン程度

## 2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

販売期間	うるち	販売期間	もち
令和2年4～6月分 （長期契約）	19,913	平成2年4～7月分	1,934
4月分 （月別契約）	340	令和2年8～11月分	3,132
5月分 （月別契約）	606	令和2年12～令和3年3月分	
6月分 （月別契約）	738		
7～9月分 （長期契約）	18,410		
7月分 （月別契約）	186		
8月分 （月別契約）	273		
9月分 （月別契約）	672		
10～12月分 （長期契約）	20,988		
10月分 （月別契約）	405		
11月分 （月別契約）	152		
12月分 （月別契約）	450		
令和3年1～3月分 （長期契約）			
1月分 （月別契約）			
2月分 （月別契約）			
3月分 （月別契約）			
小 計	63,133	小 計	5,066
合計		68,199	

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

### 3 SBS輸入米の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和2年9月25日)	一般米	878		80		80				402		1,440
	砕精米	1,780		320		200				200		2,500
	計	2,658		400		280				602		3,940
第2回 (令和2年10月28日)	一般米	1,582	40	336		360				751		3,069
	砕精米	1,950		400						150		2,500
	計	3,532	40	736		360				901		5,569
第3回 (令和2年11月25日)	一般米	3,282	160	524	54	320				635		4,975
	砕精米	2,000	100	250						150		2,500
	計	5,282	260	774	54	320				785		7,475
第4回 (令和2年12月22日)	一般米	2,284		268		120				528		3,200
	砕精米	2,200		300								2,500
	計	4,484		568		120				528		5,700
第5回 (令和3年1月14日)	一般米	3,843	80	512	126					1,107		5,668
	砕精米	2,340	100	400		160						3,000
	計	6,183	180	912	126	160				1,107		8,668
第6回 (令和3年1月29日)	一般米	4,018	820	1,026		140				1,192		7,196
	砕精米	1,360										1,360
	計	5,378	820	1,026		140				1,192		8,556
令和2年度計	一般米	15,887	1,100	2,746	180	1,020	0	0	0	4,615	0	25,548
	砕精米	11,630	200	1,670	0	360	0	0	0	500	0	14,360
	計	27,517	1,300	4,416	180	1,380	0	0	0	5,115	0	39,908
令和元年度計 (参考)	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 (参考)	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計 (参考)	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000
平成28年度計 (参考)	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	6,861	0	1,236	0	44,766
	砕精米	24,820	700	2,300	388	240	0	0	0	100	0	28,548
	計	52,138	4,300	5,787	496	2,396	0	6,861	0	1,336	0	73,314
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	1,285	0	959	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	0	0	150	0	16,452
	計	15,191	4,718	5,182	1,094	736	0	1,285	0	1,109	0	29,315

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

#### 4 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和2年5月26日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第2回 （令和2年7月28・29日）	一般米	40	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	40	
第3回 （令和2年9月29日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第4回 （令和2年11月27日）	一般米	555	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	555	
第5回 （令和3年1月27日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
令和2年度計	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0
令和元年度計 （参考）	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0
平成30年度計 （参考）	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

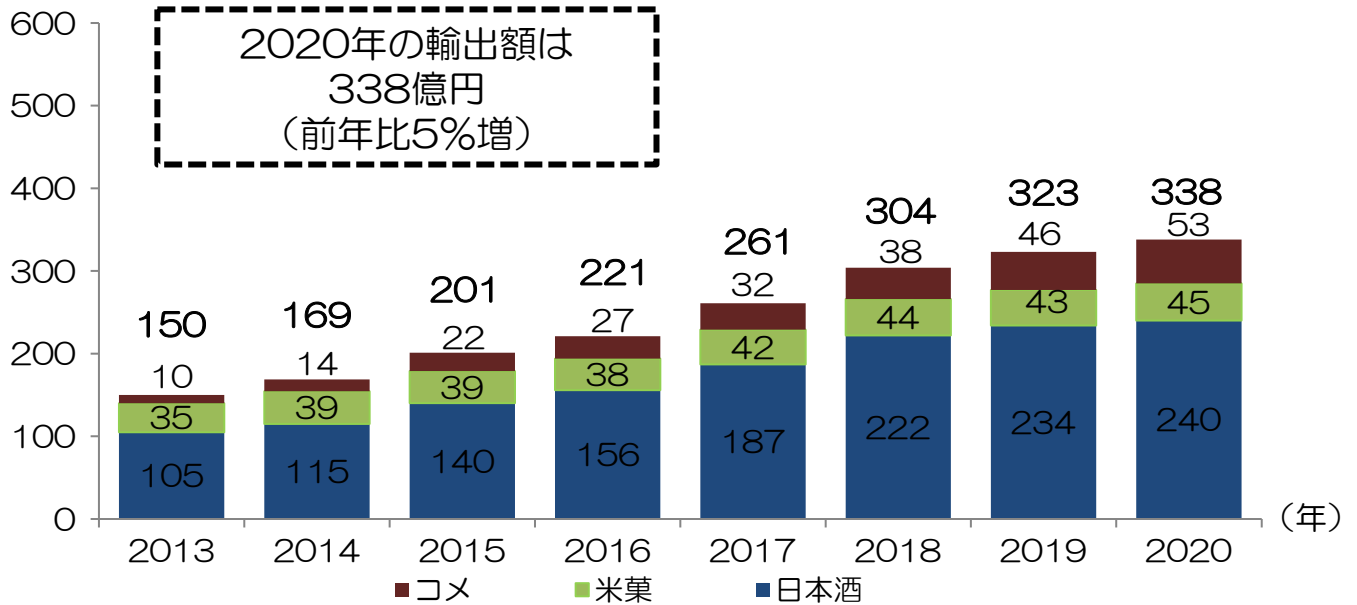
資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」



## 5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 2020年のコメ・コメ加工品の輸出額は338億円（前年比5%増）。
- うちコメの輸出は前年比15%増の53億円（数量では19,687トン、前年比13%増）。特に、香港・台湾向けの輸出が大幅に増加。
- 昨年取りまとめられた「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」では、コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品を27の輸出重点品目の一つに選定し、2025年の輸出目標額を125億円と掲げたところ。

(億円) コメ・コメ加工品の輸出状況



コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

品目名		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年		(参考) 主な輸出先国
						数量(※)	金額	
コメ・コメ加工品	数量(※)	24,135トン	28,340トン	31,741トン	34,851トン	35,533トン	+2%	アメリカ 香港 中国 台湾 シンガポール
	金額	221億円	261億円	304億円	323億円	338億円	+5%	
コメ (援助米を除く)	数量	9,986トン	11,841トン	13,794トン	17,381トン	19,687トン	+13%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 中国
	金額	27億円	32億円	38億円	46億円	53億円	+15%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	3,567トン	3,849トン	4,053トン	4,033トン	4,222トン	+5%	アメリカ 台湾 香港 シンガポール サウジアラビア
	原料米換算	3,032トン	3,272トン	3,445トン	3,428トン	3,589トン	+5%	
	金額	38億円	42億円	44億円	43億円	45億円	+5%	
日本酒 (清酒)	数量	19,737 キロリットル	23,482 キロリットル	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	21,761 キロリットル	-13%	アメリカ 中国 香港 台湾 韓国 シンガポール
	原料米換算	11,117トン	13,227トン	14,502トン	14,041トン	12,257トン	-13%	
	金額	156億円	187億円	222億円	234億円	240億円	+3%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食料援助を除く。）  
注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

## (1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2020年の商業用の米の輸出は、輸出数量が19,687トン（対前年比+13%）、輸出金額が約53億円（対前年比+15%）と、数量及び金額共に過去最高を記録。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1~12月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	7,640 (+69%)	2,234 (+56%)	9,986 (+31%)	2,709 (+21%)	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,687 (+13%)	5,311 (+15%)
香港	2,519	659	3,342	842	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	6,978 (+28%)	1,796 (+31%)
シンガポール	1,850	463	2,350	539	2,861	642	3,161	694	3,879	802	3,696 (-5%)	785 (-2%)
アメリカ	322	103	812	236	986	320	1,282	404	1,980	543	1,989 (+0%)	565 (+4%)
台湾	753	268	910	321	943	350	1,173	394	1,262	411	2,004 (+59%)	622 (+51%)
中国	568	291	375	163	298	97	524	211	1,007	363	1,002 (-0%)	321 (-12%)
オーストラリア	273	84	357	109	476	145	635	197	770	233	1,074 (+39%)	334 (+44%)
タイ	208	37	395	71	192	51	320	81	578	145	555 (-4%)	145 (+0%)
イギリス	189	60	326	98	695	191	422	121	450	131	451 (+0%)	131 (+0%)
ベトナム	142	15	74	16	101	33	118	37	213	65	159 (-25%)	46 (-30%)
ロシア	30	10	74	25	78	31	120	43	174	64	199 (+14%)	72 (+12%)
マレーシア	124	41	167	45	259	62	221	51	234	59	185 (-21%)	46 (-22%)
モンゴル	134	24	198	33	203	32	336	56	315	53	347 (+10%)	58 (+9%)
ドイツ	91	29	90	32	62	26	92	36	140	52	144 (+3%)	58 (+11%)
カナダ	85	23	96	29	92	28	138	43	158	51	205 (+30%)	62 (+21%)
フランス	33	14	39	16	61	27	78	32	93	40	112 (+20%)	49 (+21%)
フィンランド	1	0	1	1	2	1	47	11	183	40	188 (+3%)	44 (+10%)
オランダ	53	14	96	23	105	24	112	30	102	30	110 (+8%)	40 (+30%)
マカオ	30	12	39	17	38	18	65	27	62	26	43 (-31%)	21 (-22%)
インドネシア	80	17	97	30	72	26	1	2	90	25	4 (-96%)	3 (-89%)
アラブ首長国連邦	18	7	22	9	18	9	37	17	55	23	49 (-11%)	25 (+8%)
その他	137	62	126	54	171	70	222	110	200	91	193	90

(参考)EU ※	397	135	574	180	943	283	800	253	1,050	326	629 (-40%)	219 (-33%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------------	---------------

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

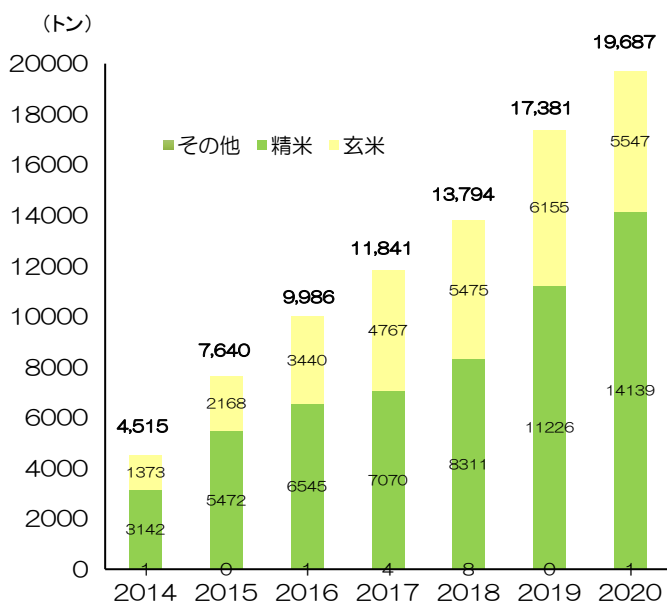
注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

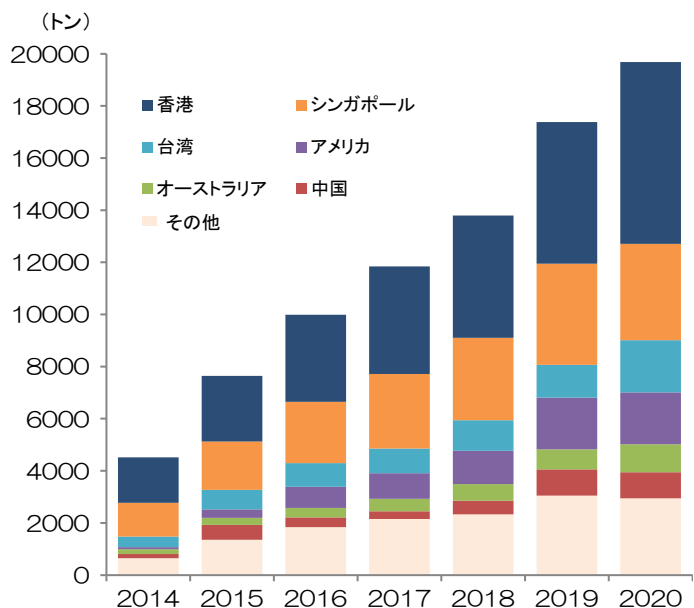
## (2) 2020年の主な増加要因

- 2020年は新型コロナウイルスの感染拡大が農林水産物・食品の輸出に大きな影響を与えたが、コメ（精米・玄米）の輸出数量は19,687トン（前年比+13%）、輸出額は53億円（前年比+15%）と大幅に増加。
- 年初～春頃は香港・アメリカ等で巣ごもり消費による小売需要の増加により輸出が大きく増加。
- その後、反動で一時減少したものの、秋以降、香港・台湾等で日本食レストラン等の営業再開に伴い業務用需要が回復。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



② 商業用の米の主な国別輸出量の推移



**香港** 📈 6,978トン（前年比+28%） 1,796百万円（前年比+31%）

- 年初から春頃、新型コロナウイルス感染拡大に伴う日本食レストランの営業停止等の影響で業務用需要が減少した一方で、巣ごもり消費により小売需要が大きく増加、トータルでは前年比大幅増で推移したこと
- その後一旦反動で需要が落ち込んだものの、秋以降は、日本食レストラン等の営業再開に伴い、業務用需要が回復したことが増加の大きな要因であると考えられる。

**台湾** 📈 2,004トン（前年比+59%） 622百万円（前年比+51%）

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響が比較的小さく、日本食レストラン等において営業時間短縮や座席数の制限等があったものの、営業停止には至らず業務用需要に大きな影響が生じなかったこと、一方で日系寿司チェーン店が店舗数を増やすなど、業務用需要が拡大したことが増加の要因であると考えられる。

### (3) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2020年の米菓の輸出は、輸出数量が4,222トン（対前年比+5%）、輸出金額が約45億円（対前年比+5%）と、数量及び金額共に過去最高を記録。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1～12月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	3,679 (-8%)	3,869 (-2%)	3,567 (-3%)	3,808 (-2%)	3,849 (+8%)	4,186 (+10%)	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)
アメリカ	797	794	897	878	1,067	1,062	1,112	1,134	1,100	1,122	1,134 (+3%)	1,145 (+2%)
台湾	895	921	868	909	731	758	830	878	854	894	989 (+16%)	1,057 (+18%)
香港	664	826	578	725	520	660	629	744	603	724	629 (+4%)	749 (+3%)
シンガポール	239	264	202	250	200	269	208	268	209	243	227 (+9%)	267 (+10%)
サウジアラビア	242	146	122	69	170	98	279	176	258	161	335 (+30%)	215 (+34%)
中国	78	86	52	55	62	84	61	123	87	160	76 (-14%)	139 (-14%)
韓国	98	146	161	230	326	489	229	338	119	156	65 (-46%)	77 (-51%)
ベトナム	25	33	50	51	42	76	55	112	75	155	90 (+19%)	195 (+26%)
オーストラリア	159	143	160	139	173	144	121	106	127	111	108 (-15%)	96 (-13%)
タイ	45	68	37	53	40	57	44	60	62	83	80 (+28%)	104 (+26%)
オランダ	126	111	113	106	127	111	81	87	58	61	68 (+17%)	73 (+19%)
カナダ	27	32	25	28	31	37	31	37	35	42	35 (-1%)	41 (-3%)
マレーシア	14	17	26	29	25	31	25	29	39	41	53 (+34%)	56 (+38%)
ブラジル	40	36	40	35	43	41	37	38	40	41	26 (-34%)	27 (-34%)
ブルガリア	49	14	38	9	98	27	103	31	149	40	102 (-31%)	25 (-39%)
イギリス	24	28	23	29	21	26	18	22	21	32	21 (-3%)	34 (+8%)
フィリピン	9	11	21	24	19	19	23	22	27	27	26 (-0%)	27 (+1%)
北マリアナ諸島	19	27	17	22	22	28	20	25	19	25	18 (-2%)	25 (-3%)
グアム	19	23	22	24	16	21	19	23	19	24	21 (+8%)	27 (+13%)
アラブ首長国連邦	21	33	21	32	20	30	19	28	16	23	9 (-42%)	14 (-39%)
その他	90	110	96	109	95	119	112	144	117	142	112	140
(参考)EU ※	235	200	223	193	277	206	240	189	267	183	209 (-22%)	148 (-19%)

資料：財務省「貿易統計」

注：（ ）内は対前年同期増減率である。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

#### (4) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移

2020年の日本酒の輸出は輸出数量が21,761キロリットル（対前年比-13%）、輸出金額が約240億円（対前年比+3%）と、数量は減少したものの、金額は過去最高を記録。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1~12月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	18,180 (+11%)	14,011 (+22%)	19,737 (+9%)	15,581 (+11%)	23,482 (+19%)	18,679 (+20%)	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)
アメリカ	4,780	4,997	5,108	5,196	5,780	6,039	5,952	6,313	6,452	6,757	5,270 (-18%)	5,070 (-25%)
中国	1,576	1,172	1,910	1,449	3,341	2,660	4,146	3,587	5,145	5,001	4,772 (-7%)	5,792 (+18%)
香港	1,745	2,282	1,877	2,630	1,807	2,799	2,097	3,774	1,926	3,943	2,629 (+36%)	6,178 (+57%)
韓国	3,367	1,364	3,695	1,562	4,798	1,864	5,351	2,212	2,912	1,360	1,535 (-47%)	979 (-28%)
台湾	2,112	890	2,096	931	1,985	948	2,238	1,351	2,246	1,359	2,273 (+1%)	1,430 (+5%)
シンガポール	437	526	509	601	530	691	610	837	609	857	688 (+13%)	1,113 (+30%)
カナダ	553	345	576	381	711	486	684	529	715	548	549 (-23%)	429 (-22%)
オーストラリア	358	310	409	362	444	396	502	446	483	439	525 (+9%)	491 (+12%)
ベトナム	339	248	390	287	376	267	462	440	437	376	342 (-22%)	279 (-26%)
イギリス	252	260	317	323	388	348	298	324	352	373	220 (-37%)	215 (-42%)
フランス	151	140	169	196	266	267	274	276	270	285	222 (-18%)	213 (-25%)
タイ	503	230	461	240	472	252	604	300	627	276	498 (-21%)	225 (-19%)
ドイツ	401	162	388	179	368	167	367	203	477	242	402 (-16%)	207 (-15%)
マレーシア	213	181	223	201	289	265	283	244	253	242	309 (+22%)	278 (+15%)
マカオ	21	61	25	79	34	150	52	207	39	156	44 (+11%)	179 (+15%)
オランダ	205	130	183	108	276	144	223	161	247	142	288 (+17%)	178 (+25%)
イタリア	249	111	322	114	386	139	312	130	339	129	242 (-29%)	89 (-31%)
ブラジル	184	88	184	93	219	109	207	93	248	119	146 (-41%)	76 (-36%)
スペイン	70	43	82	57	154	110	153	98	130	75	81 (-38%)	49 (-34%)
メキシコ	35	31	49	52	50	48	67	63	67	74	21 (-68%)	17 (-77%)
その他	629	441	767	540	808	529	864	642	951	661	704	654
(参考)EU ※	1,475	961	1,605	1,085	2,009	1,311	1,809	1,334	2,023	1,421	1,447 (-28%)	915 (-36%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：( )内は対前年同期増減率である。

注2：数量1キロリットル未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

## (5) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移

2020年の包装米飯等の輸出は輸出数量が1,203トン(対前年比+18%)、輸出金額が約7億円(対前年比+27%)と、数量及び金額共に過去最高を記録。

	2017年		2018年		2019年		2020年 (1~12月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	658	344	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,203 (+18%)	653 (+27%)
アメリカ	338	132	407	159	442	167	447 (+1%)	169 (+2%)
ベトナム	69	54	92	73	82	79	66 (-20%)	69 (-13%)
香港	35	25	79	51	130	77	261 (+101%)	170 (+122%)
台湾	33	28	58	36	105	56	145 (+38%)	88 (+58%)
中国	8	6	20	14	96	42	68 (-29%)	43 (+1%)
タイ	29	14	40	17	63	27	75 (+19%)	34 (+27%)
シンガポール	21	19	31	24	21	17	43 (+98%)	24 (+42%)
韓国	67	33	149	72	31	17	20 (-36%)	11 (-38%)
イギリス	8	4	10	4	9	4	10 (+11%)	5 (+27%)
フィリピン	1	0	1	0	4	4	3 (-7%)	3 (-30%)
インドネシア	6	4	4	3	5	4	10 (+91%)	6 (+73%)
カナダ	1	0	5	4	6	3	5 (-15%)	2 (-34%)
オランダ	2	1	5	3	4	3	4 (+4%)	5 (+45%)
マカオ	0	0	0	0	3	3	2 (-49%)	2 (-32%)
メキシコ	6	3	5	3	5	3	7 (+41%)	5 (+52%)
オーストラリア	19	12	1	1	3	2	20 (+496%)	9 (+314%)
フランス	1	1	3	2	3	2	5 (+58%)	2 (+8%)
ドイツ	0	1	—	—	0	1	0 (+0%)	1 (-0%)
カンボジア	4	3	1	1	2	1	0 -	0 -
マレーシア	—	—	—	—	1	1	8 -	5 -
その他	12	4	12	5	2	2	5	7
(参考)EU ※	11	7	18	9	17	11	14 (-18%)	9 (-11%)

資料:財務省「貿易統計」

注1:( )内は対前年同期増減率である。

注2:包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食品のうち米のものを集計。  
(2017年1月から単独のコードとして独立。)

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

## 6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について (輸出拡大実行戦略のうちコメ・パックご飯・米粉及び米粉製品)



### 1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	・大手米卸や輸出事業者が中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る。
アメリカ	7億円	30億円	・大手米卸や輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン等やEC等の小売需要を開拓。またパックご飯や米粉の最大の輸出先国であり、更なる市場開拓を図る。
中国	4億円	19億円	・大手米卸等がECやギフトボックス等の贈答用を中心に需要を伸ばしており、更なる開拓を図る。 ・コスト削減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠。
シンガポール	8億円	16億円	・輸出事業者やJA系統等が中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る。
その他	18億円	22億円	・UAEや欧州等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る。 ・EUを中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る。

### 2. 輸出産地の育成・展開

#### <2025年の輸出産地数の目標>

- ・ 30～40産地（先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する）

#### <今後育成すべき国内産地>

- ・ 国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大ロットで輸出用米を生産・供給する産地

#### <生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>

- ・ 輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進。

### 3. 加工・流通施設の整備

- ・ パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援。

### 4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・ 現在、（一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が品目別のプロモーションを実施。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用。
- ・ 今後全米輸は、新興市場（輸出事業者の進出が不十分な国・地域あるいは分野。UAE・北欧や、アメリカのEC市場等を想定）でのプロモーション等を通じた市場開拓を予定。実施に際してはJETRO・JFOODOとも連携。

# VI 主食用米以外の情報

## 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

### (1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

			合計	(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	198,382	49,471	247,853	97,543	150,309

資料: 農林水産省「加工用米生産量」

注:1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、2年産は計画数量。

注:2 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注:3 参考の27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計(実績値)と一致しない。

注:4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:トン, ha)

	新規需要米		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗 飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール 用米		その他 (わら専用稲・ 青刈り用稲)	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量		面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	-	-	303	2,426	1,330	982
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	-	-	295	2,314	956	1,108
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-
元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	-	-	-	-	114	-
2年産	126,205	441,610	6,346	33,361	70,883	374,906	42,791	6,089	33,343	-	-	-	-	96	-

資料: 農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移(平成20年産～令和2年産)」

注1: 平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。

注2: 令和2年産の面積・生産量は、農業者等が提出する取組計画のうち農林水産省が認定したものであり、作柄等が反映された実績ベースではない。

注3: 「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注4: 「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」(以下「要領」)に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注5: 平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注6: 「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。



## (3) 令和2年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米		新規需要米				政府備蓄米	合計	
	うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米			
全国	247,853	198,382	49,471	441,610	374,906	33,343	33,361	207,000	896,462
北海道	32,041	23,409	8,633	14,204	10,387	3,539	278	2,162	48,407
青森	5,106	4,644	462	27,402	25,888	1,485	29	27,259	59,767
岩手	6,060	4,868	1,192	20,765	19,035	1,328	402	3,488	30,312
宮城	3,825	3,203	622	30,466	26,201	3,500	766	11,600	45,891
秋田	45,367	28,208	17,159	12,948	8,736	1,666	2,545	21,314	79,628
山形	23,403	22,029	1,374	21,425	19,134	1,521	770	21,291	66,120
福島	2,334	2,301	34	25,716	25,449	242	25	27,050	55,101
茨城	7,151	7,010	141	44,880	41,381	3,303	195	1,103	53,134
栃木	10,381	10,366	15	49,159	44,500	598	4,061	7,602	67,142
群馬	6,598	6,598		6,429	4,752	67	1,610	555	13,582
埼玉	620	615	5	10,540	5,888	163	4,489	463	11,623
千葉	7,974	4,386	3,588	21,630	21,166	67	397	3,985	33,589
東京									
神奈川				48	48				48
新潟	28,119	18,287	9,832	25,815	10,220	6,199	9,396	25,149	79,084
富山	5,435	4,432	1,003	9,187	7,072	1,458	657	12,197	26,820
石川	2,194	1,815	379	5,053	2,768	1,586	699	6,811	14,058
福井	2,318	1,992	326	7,882	5,545	1,466	872	4,076	14,276
山梨	373	371	1	142	98		44		515
長野	4,070	3,813	258	2,292	1,431	721	140	1,389	7,752
岐阜	4,585	4,585		11,207	10,718	340	149	326	16,118
静岡	720	720		5,306	5,294	6	6	20	6,045
愛知	3,068	2,877	191	7,061	6,505	130	425	846	10,975
三重	899	861	38	8,795	7,905	412	477		9,694
滋賀	4,064	3,719	345	6,792	5,631	1,019	142	1,342	12,198
京都	2,504	2,497	7	618	479	103	37		3,123
大阪	1	1		57	32		25		58
兵庫	3,796	3,538	258	2,088	1,528	344	216		5,884
奈良	110	110		296	140	2	154		406
和歌山				15	12		4		15
鳥取	86	86		2,710	2,683	24	3	400	3,196
島根	1,687	1,583	104	3,600	3,544	12	44	130	5,417
岡山	2,065	1,977	88	6,724	5,679	593	451	566	9,355
広島	1,926	1,875	51	2,549	1,568	320	661	20	4,495
山口	4,711	4,663	48	5,250	4,513	623	114		9,962
徳島	83	83		2,877	2,606	216	54	550	3,510
香川	191	191		708	644	31	33		899
愛媛	380	380		1,130	1,122		8		1,510
高知	338	338		3,876	3,805		71	10	4,225
福岡	1,080	834	245	10,692	9,253	47	1,392	114	11,886
佐賀	2,047	195	1,851	3,249	3,092	33	125	220	5,516
長崎	47	47		586	542	10	33	10	643
熊本	3,926	2,780	1,146	7,169	5,915	87	1,167	120	11,215
大分	771	771		6,970	6,910		60	94	7,836
宮崎	8,241	8,241		2,163	2,003	78	83		10,404
鹿児島	7,123	7,050	72	3,136	3,083	5	48		10,259
沖縄	31	31		2			2		32

資料：農林水産省「令和2年産加工用米の都道府県別の取組計画認定状況」(確定値)、「令和2年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況」(確定値)、「国内産政府備蓄米の買入入札の結果」(令和2年産)

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分24,738トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

## 2 米加工品の状況

### (1) 主な米加工品の生産状況

(トン、kℓ)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
						(1~11月)	対前年同期比
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	370,601	102%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	24,675	102%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	180,153	109%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	157,627	96%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	3,584	87%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	378	78%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	4,184	88%
米菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	200,038	100%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	85,049	102%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	114,989	98%
味噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	427,567	99%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	364,129	98%
麦みそ	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	15,007	107%
豆みそ	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	22,183	94%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	26,248	104%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	83,602	100%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	37,691	95%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	7,457	87%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	4,426	102%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	1,365	95%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	935	90%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	1,051	96%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	2,289	103%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	28,388	114%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	57,829	109%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	350,854	89%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	117,333	85%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	15,856	86%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	33,379	87%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	45,872	87%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	22,226	77%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	233,521	91%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	360,972	96%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	156,993	96%
麦焼酎	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	148,747	98%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	27,659	91%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

## (2) 令和元米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和元米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、前年から微減の約95万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約76万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約7割。残りの約3割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 味噌を中心にMA米の使用量が減少し、特定米穀の使用量が増加。

### <うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	11 (9)	9		3			23 (9)
米菓用	1	2		5	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	4	7					11
味噌用		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)		1		4	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	9
その他用	1	1		1	1		4
合計	16	22	3	18	13	3	76

### <もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	3	3				1	8
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	5		1	2	5	19

注1：日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2：加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約9万トンを含んでいない。

3：焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4：その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5：特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用されるふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

#### 【推計根拠】

1 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）

焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）

米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等

2 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計

加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告

新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量

MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）

輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）

特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

### (3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

#### <うるち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	27	12 (9)	10		3			25 (9)
	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
米菓用	27	1	2		7	2	1	13
	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	27	5	5					10
	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
味噌用	27		1		7	1		9
	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)	27		1		5	2		8
	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
米穀粉用	27		1	2	2	2	1	8
	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
その他用	27	1			2	1		4
	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
合計	27	18	22	2	24	9	2	77
	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76

#### <もち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	27	3	2				2	7
	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
米菓用	27	2	1		1	1	2	6
	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	27	1					1	3
	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	27	1						1
	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
その他用	27						1	2
	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
合計	27	7	4		1	1	6	19
	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19

注1: 日本酒用の( )書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゅう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

### 3 酒造好適米の需給状況

#### (1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。
- 令和2年については、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により国内外の日本酒出荷量が大幅に減少。

#### 日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	
											対前年比	
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	417	89%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	142	86%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	20	88%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	40	89%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	55	89%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	27	78%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	275	91%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

#### 日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	
											対前年比	
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22	87%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	5	82%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	5	93%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	136%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	101%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	2	53%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	5	85%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

#### (2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に流通している米のほか、酒造りのために作られた特別な米である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産は、特定名称酒も減少に転じたこと等から約23万トン（対前年比▲5%）に減少しており、今後の動向に注視が必要。

#### 日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	対前年比 30/29年
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	95%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	94%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	102%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	85%

資料：農林水産省による推計値。

### (3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、平成26年産主食用米（うるち米）の取引価格の大幅下落等により、酒造好適米の生産へシフトしたこと等から、平成27年産において、需要を上回る生産量となった。
- 平成28年産以降は減少傾向にあるが、日本酒出荷量の急減に伴い、酒造好適米の需要量も減少傾向にあり、供給過剰が続いている状況。
- さらに、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、国内外の日本酒出荷量が急減しており、大幅な供給過剰が見込まれる状況。

#### 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	2年産	
												対前年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,438	83,562	87.2%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,528	37,257	38,431	33,916	34,644	28,123	82.9%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,767	17,194	81.1%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	5,765	90.0%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	1,997	73.3%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,467	33,337	33,514	31,607	32,619	30,483	96.4%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：2年産は、令和2年12月31日現在の速報値を直近3カ年の12月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

### (4) 酒造好適米の需要量

- 令和2年7月に実施した需要量調査によると、酒造好適米の需要量は、令和2年産が73～74千トン程度、令和3年産が70～72千トン程度と大幅な減少が見込まれる。

(参考) 令和2年度 酒造好適米等の需要量調査の概要

- 日本酒の酒造メーカー（1,421社）を対象として、令和2年7月に酒造好適米等の購入実績及び将来の購入見込数量を調査。730社から回答があり、回答率は数量ベースの回答率は約79～80%と推計される。

#### 酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	30年産	元年産		2年産		3年産	
		対30年産比	対30年産比	対30年産比	対30年産比		
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	70,032	65,690	93.8%	58,255	83.2%	56,393	80.5%
山田錦	27,778	24,888	89.6%	23,354	84.1%	22,394	80.6%
五百万石	15,937	14,610	91.7%	11,202	70.3%	11,178	70.1%
美山錦	4,318	3,922	90.8%	3,373	78.1%	3,267	75.7%
雄町	1,467	1,444	98.4%	1,240	84.5%	1,234	84.1%
その他	20,532	20,826	101.4%	19,086	93.0%	18,320	89.2%
酒造好適米の全体需要量(推計)	87～89千トン	82～84千トン		73～74千トン		70～72千トン	

資料：「令和2年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果(実数)」は、令和元年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量(推計)」は、令和2年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約79～80%と推計されるため、今回調査した各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。

URL：http://www.maff.go.jp/j/seisaku\_tokatu/kikaku/sake.html

## VII 作柄概況

### 令和2年産水陸稲の収穫量

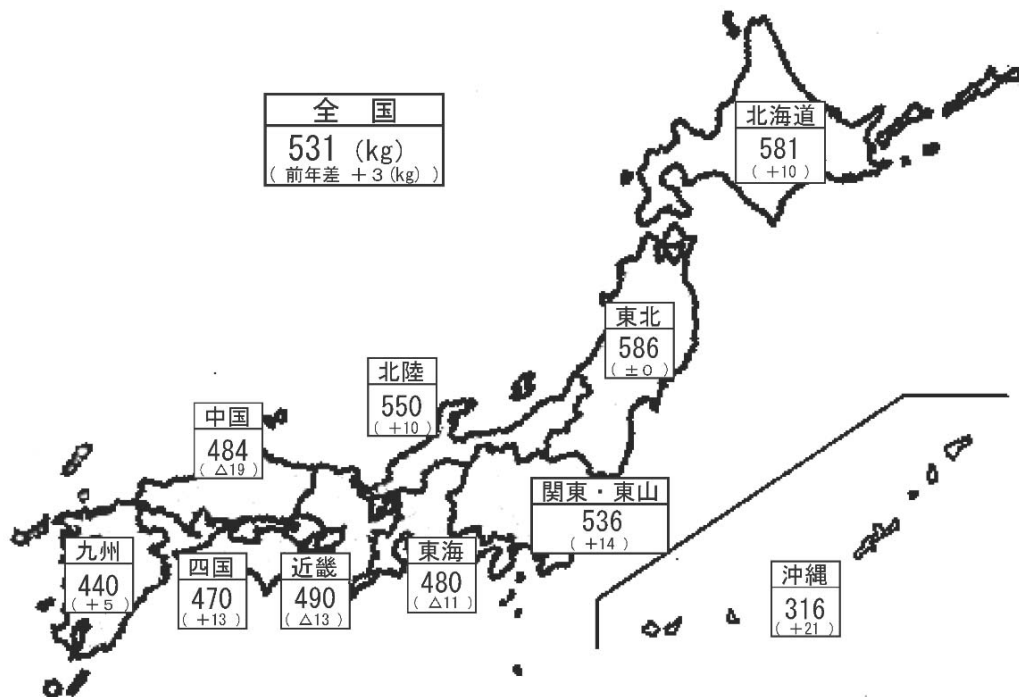
令和2年12月9日公表

－ 水稲の収穫量（主食用）は722万5,000 t －

#### 【調査結果の概要】

- 1 令和2年産水稲の作付面積（子実用）は146万2,000haで、前年産に比べ7,000ha減少した。うち主食用作付面積は136万6,000haで、前年産に比べ1万3,000ha減少した。
- 2 全国の10a当たり収量は531kgで、前年産に比べ3kgの増加が見込まれる。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は776万3,000tで、前年産に比べ1,000tの増加が見込まれる。このうち、主食用の収穫量は722万5,000tで、前年産に比べ3万6,000tの減少が見込まれる。
- 4 なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は99となる見込み。
- 5 令和2年産陸稲の作付面積（子実用）は636haで、10a当たり収量は236kgとなり、収穫量（子実用）は1,500tとなった。

#### 水稲の全国農業地域別10a当たり収量



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり収量及び収穫量は、1.70 mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

○ 令和2年産水陸稲の収穫量の本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/index.html#y5](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5) 】

## 水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量(子実用)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

### ふるい目幅別重量分布状況の推移(全国)

単位:%

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成27年産	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2 (概数値)	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
平均 値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.7	77.3
対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.1	△ 1.3	1.4

注:平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

### ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量(子実用)の推移(全国)

年 産	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上	
								10a 当たり収量
平成27年産	kg	531	527	519	509	494	413	
	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000	
28	kg	544	540	534	524	511	435	
	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000	
29	kg	534	529	521	510	494	409	
	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000	
30	kg	529	524	516	504	486	393	
	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000	
令和元	kg	528	524	517	507	492	411	
	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000	
2 (概数値)	10a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	10a 当たり収量	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
	対前年比	%	100	100	100	100	100	101

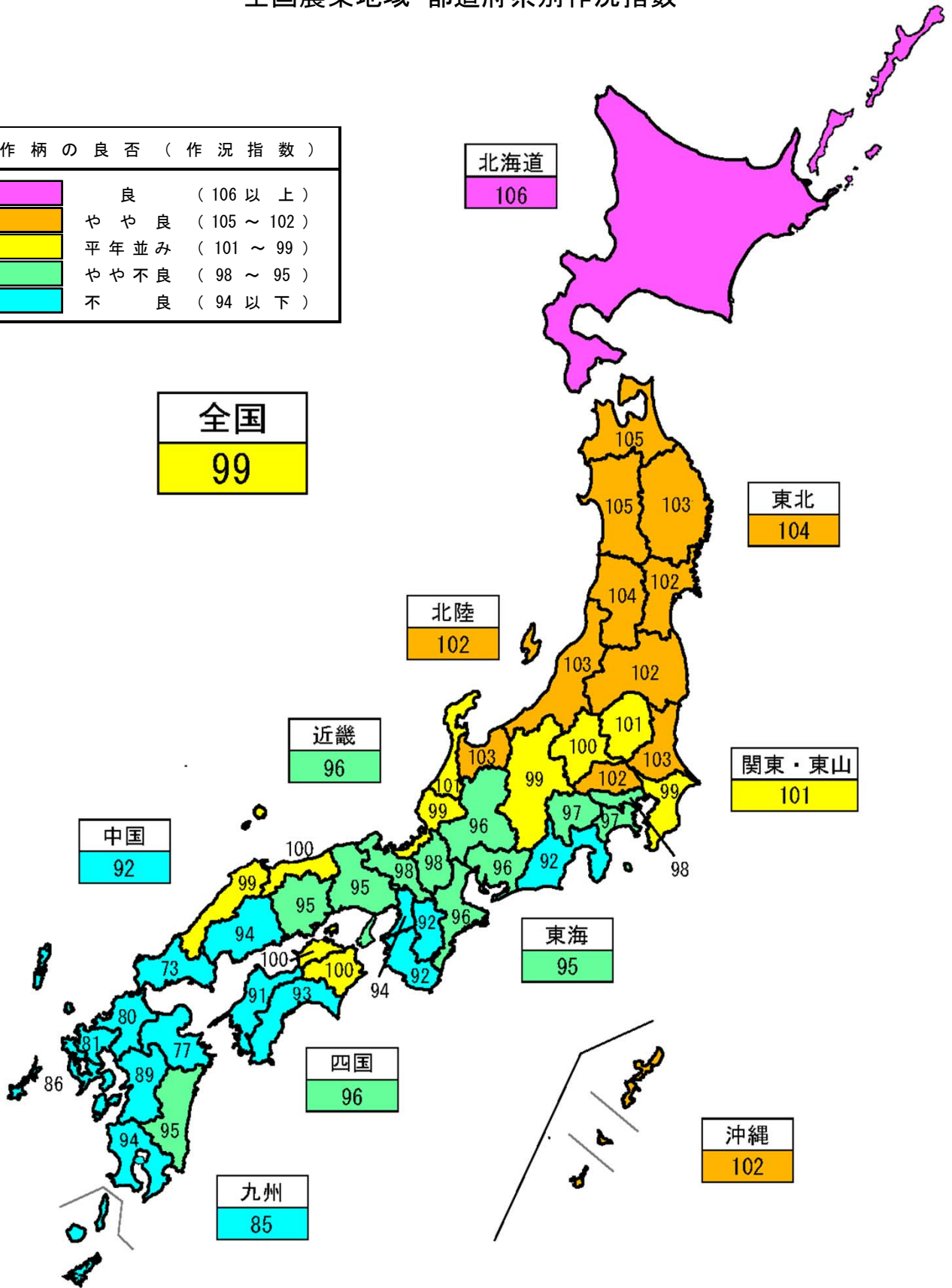
注:1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。



# 全国農業地域・都道府県別作況指数

作柄の良否（作況指数）	
■	良（106以上）
■	やや良（105～102）
■	平年並み（101～99）
■	やや不良（98～95）
■	不良（94以下）



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通期栽培（第二期稲）を合算したものである。

## 令和2年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 農 業 地 域	作付面積（子実用）			10a 当たり収量		収穫量（子実用）			参 考		
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産 との比較 対差	実 数 ③=①×②	前年産との比較		主食用 作付面積 ④	収穫量 (主食用) ⑤=④×②	作況指数
		対差	対比				対差	対比			
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,462,000	△ 7,000	100	531	3	7,763,000	1,000	100	1,366,000	7,225,000	99
北 海 道	102,300	△ 700	99	581	10	594,400	6,300	101	95,300	553,700	106
東 北	381,500	△ 500	100	586	0	2,236,000	△ 3,000	100	342,000	2,000,000	104
北 陸	206,400	△ 100	100	550	10	1,135,000	20,000	102	185,900	1,021,000	102
関東・東山	269,600	△ 1,500	99	536	14	1,444,000	30,000	102	255,800	1,370,000	101
東 海	92,500	△ 600	99	480	△ 11	444,000	△ 13,100	97	89,800	431,500	95
近 畿	101,300	△ 1,300	99	490	△ 13	496,000	△ 20,400	96	97,700	478,000	96
中 国	101,200	△ 900	99	484	△ 19	489,700	△ 23,500	95	98,200	475,700	92
四 国	47,400	△ 900	98	470	13	222,800	2,100	101	46,900	219,900	96
九 州	158,600	△ 1,400	99	440	5	698,500	2,100	100	153,200	673,300	85
沖 縄	650	△ 27	96	316	21	2,050	50	103	630	1,990	102

- 注：1 10a当たり収量及び収穫量(子実用)は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
 2 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。  
 3 主食用作付面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。  
 4 収穫量(子実用)及び収穫量(主食用)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。  
 5 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

## 令和2年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 都道府県	作付面積（子実用）			10a当たり 収 量 ②	（参考）農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較			最も大きい 割合の目幅 ③	10a当たり 収 量 ④	10a当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥=④/⑤
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,462,000	△ 7,000	100	531	...	508	512	99
北 海 道 (2)	102,300	△ 700	99	581	1.90	557	524	106
青 森 (3)	45,200	200	100	628	1.90	600	570	105
岩 手 (4)	50,400	△ 100	100	553	1.90	527	514	103
宮 城 (5)	68,300	△ 100	100	552	1.90	527	515	102
秋 田 (6)	87,600	△ 200	100	602	1.90	566	541	105
山 形 (7)	64,700	200	100	622	1.90	592	568	104
福 島 (8)	65,300	△ 500	99	562	1.85	544	533	102
茨 城 (9)	67,800	△ 500	99	531	1.85	519	505	103
栃 木 (10)	59,200	0	100	538	1.85	520	515	101
群 馬 (11)	15,500	0	100	496	1.80	481	482	100
埼 玉 (12)	31,900	△ 100	100	496	1.80	487	477	102
千 葉 (13)	55,400	△ 600	99	537	1.80	528	534	99
東 京 (14)	124	△ 5	96	400	1.80	394	403	98
神 奈 川 (15)	2,990	△ 50	98	474	1.80	464	477	97
新 潟 (16)	119,500	300	100	558	1.85	542	527	103
富 山 (17)	37,100	△ 100	100	556	1.90	535	519	103
石 川 (18)	24,800	△ 200	99	530	1.85	515	509	101
福 井 (19)	25,100	0	100	518	1.90	482	486	99
山 梨 (20)	4,880	△ 10	100	529	1.80	516	532	97
長 野 (21)	31,800	△ 200	99	606	1.85	590	598	99
岐 阜 (22)	22,500	0	100	470	1.80	459	476	96
静 岡 (23)	15,500	△ 200	99	478	1.80	469	511	92
愛 知 (24)	27,400	△ 100	100	490	1.85	469	491	96
三 重 (25)	27,100	△ 200	99	479	1.85	458	479	96
滋 賀 (26)	31,100	△ 600	98	509	1.90	475	483	98
京 都 (27)	14,300	△ 100	99	501	1.85	484	494	98
大 阪 (28)	4,700	△ 150	97	472	1.80	448	479	94
兵 庫 (29)	36,500	△ 300	99	477	1.85	455	477	95
奈 良 (30)	8,480	△ 10	100	482	1.80	462	500	92
和 歌 山 (31)	6,250	△ 110	98	462	1.80	446	486	92
鳥 取 (32)	12,900	200	102	512	1.85	497	495	100
島 根 (33)	17,100	△ 200	99	511	1.90	476	483	99
岡 山 (34)	29,800	△ 300	99	505	1.85	475	501	95
広 島 (35)	22,600	△ 100	100	499	1.85	475	508	94
山 口 (36)	18,900	△ 400	98	386	1.85	350	481	73
徳 島 (37)	11,000	△ 300	97	476	1.80	464	462	100
早期栽培 (38)	4,260	△ 80	98	453	1.80	443	453	98
普通栽培 (39)	6,710	△ 230	97	492	1.80	478	467	102
香 川 (40)	11,700	△ 300	98	496	1.80	480	478	100
愛 媛 (41)	13,400	△ 200	99	474	1.85	429	469	91
高 知 (42)	11,300	△ 100	99	433	1.80	417	447	93
早期栽培 (43)	6,380	△ 60	99	454	1.80	442	472	94
普通栽培 (44)	4,950	△ 30	99	407	1.80	387	415	93
福 岡 (45)	34,900	△ 100	100	416	1.85	365	459	80
佐 賀 (46)	23,900	△ 200	99	436	1.85	394	488	81
長 崎 (47)	11,100	△ 300	97	422	1.80	397	464	86
熊 本 (48)	33,300	0	100	470	1.85	428	480	89
大 分 (49)	20,200	△ 400	98	403	1.80	369	477	77
宮 崎 (50)	16,000	△ 100	99	475	1.80	457	482	95
早期栽培 (51)	6,140	△ 160	97	469	1.80	459	470	98
普通栽培 (52)	9,870	90	101	479	1.80	457	490	93
鹿 児 島 (53)	19,300	△ 200	99	458	1.80	442	470	94
早期栽培 (54)	4,450	80	102	443	1.80	431	443	97
普通栽培 (55)	14,900	△ 300	98	462	1.80	444	478	93
沖 縄 (56)	650	△ 27	96	316	1.80	306	299	102
第一期稲 (57)	479	△ 27	95	367	1.80	359	351	102
第二期稲 (58)	171	0	100	175	1.80	155	146	106

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

3 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については、都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

収穫量（子実用）			参 考		
実 数 ⑦=①×②	前年産との比較		主 食 用 作 付 面 積 ⑧	収 穫 量 （ 主 食 用 ） ⑨=⑧×②	
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,763,000	1,000	100	1,366,000	7,225,000	(1)
594,400	6,300	101	95,300	553,700	(2)
283,900	1,700	101	38,300	240,500	(3)
278,700	△ 1,100	100	48,200	266,500	(4)
377,000	100	100	64,500	356,000	(5)
527,400	600	100	75,300	453,300	(6)
402,400	△ 2,000	100	56,500	351,400	(7)
367,000	△ 1,500	100	59,200	332,700	(8)
360,000	15,800	105	65,500	347,800	(9)
318,500	7,100	102	54,900	295,400	(10)
76,900	1,600	102	13,600	67,500	(11)
158,200	4,000	103	30,600	151,800	(12)
297,500	8,500	103	52,500	281,900	(13)
496	△ 23	96	124	496	(14)
14,200	△ 100	99	2,990	14,200	(15)
666,800	20,700	103	106,700	595,400	(16)
206,300	600	100	33,200	184,600	(17)
131,400	△ 1,600	99	22,600	119,800	(18)
130,000	△ 500	100	23,300	120,700	(19)
25,800	△ 700	97	4,800	25,400	(20)
192,700	△ 5,700	97	30,700	186,000	(21)
105,800	△ 2,700	98	21,400	100,600	(22)
74,100	△ 7,100	91	15,400	73,600	(23)
134,300	△ 2,900	98	26,400	129,400	(24)
129,800	△ 400	100	26,700	127,900	(25)
158,300	△ 3,100	98	29,700	151,200	(26)
71,600	△ 1,100	98	13,800	69,100	(27)
22,200	△ 2,100	91	4,700	22,200	(28)
174,100	△ 8,800	95	34,800	166,000	(29)
40,900	△ 2,800	94	8,430	40,600	(30)
28,900	△ 2,500	92	6,250	28,900	(31)
66,000	700	101	12,800	65,500	(32)
87,400	△ 100	100	16,800	85,800	(33)
150,500	△ 5,100	97	28,900	145,900	(34)
112,800	△ 500	100	22,000	109,800	(35)
73,000	△ 18,500	80	17,800	68,700	(36)
52,400	0	100	10,700	50,900	(37)
19,300	△ 500	97	...	...	(38)
33,000	400	101	...	...	(39)
58,000	1,500	103	11,600	57,500	(40)
63,500	△ 400	99	13,300	63,000	(41)
48,900	1,000	102	11,200	48,500	(42)
29,000	△ 300	99	...	...	(43)
20,100	1,400	107	...	...	(44)
145,200	△ 13,700	91	34,400	143,100	(45)
104,200	32,400	145	23,400	102,000	(46)
46,800	△ 5,100	90	11,000	46,400	(47)
156,500	△ 4,300	97	32,300	151,800	(48)
81,400	△ 8,200	91	20,000	80,600	(49)
76,000	1,100	101	14,300	67,900	(50)
28,800	△ 100	100	...	...	(51)
47,300	1,400	103	...	...	(52)
88,400	△ 100	100	17,800	81,500	(53)
19,700	600	103	...	...	(54)
68,800	△ 800	99	...	...	(55)
2,050	50	103	630	1,990	(56)
1,760	90	105	...	...	(57)
299	△ 22	93	...	...	(58)

4（参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別の④10a当たり収量、⑤10a当たり平年収量及び⑥作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

I 米の需給

- 1 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和2年11月5日))
  - (1) 令和元/2年の需要実績(確定値)
  - (2) 全国の令和2/3年及び令和3/4年の需要見通し(推計値)
  - (3) 令和2/3年及び令和3/4年の需給見通し

需給 1

II 米の在庫情報

- 1 平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫 1

Excel

III 米の契約・販売情報

- 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26年産～令和元年産)
- 2 令和元年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)(速報)
- 3 備蓄米の買入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和2年産)

契約 1

Excel

契約 4

Excel

契約 10

IV 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和元年産)
- 2 米の現物市場の状況

価格 1

Excel

価格 4

V 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金
- (2) 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業
- (3) 麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト
- (4) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)
- (5) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)
- (6) 収入保険
- (7) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業
- (8) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

支援 1

支援 6

支援 7

支援 8

支援 10

支援 12

支援 14

支援 16

VI その他

- (1) 水稲うるち玄米の農産物検査結果
- (2) 飼料用米の需要量
- (3) 麦・大豆の需要情報
  - ① 令和2年産麦の産地別銘柄別入札結果
  - ② 令和元年産大豆の産地別銘柄別入札結果
- (4) 野菜等の需給情報
- (5) 令和元年産水稲の収穫量
- (6) 水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移(全国)
- (7) 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、  
10a 当たり収量及び収穫量(子実用)
- (8) 年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移

検査 1

飼料 1

麦 1

大豆 1

野菜 1

統計 1

統計 6

統計 7

統計 8

農業者と農林水産省をつなぐ  
新たなコミュニケーションツール

# MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。  
現場の情報を直接届ける。





MAFF  
Ministry of Agriculture,  
Forestry and Fisheries  
農林水産省



Android



iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>